

令和7年度生涯学習関係事業報告書

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)

基本理念 まなびすとが輝く 久喜のまちづくり
「学ぶ」と「いかす」を「つなぐ」「支えあう」ことで豊かな人づくり、まちづくりを目指します

基本方針

- ・主体的な学びで、自らの生きがいにつなげる（自主）
- ・市民と行政がともに学び、まちづくりを推進する（協働）
- ・学びをとおしてコミュニティが充実し、だれもが住みやすいまちをつくる（創造）

基本目標1 学ぶ～様々な学びの提供～

- 施策1 ライフステージに応じた学びの充実
- 施策2 共生社会の学びの支援
- 施策3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実

基本目標2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～

- 施策1 人材の育成・活用
- 施策2 発表機会の充実や学習意欲の向上
- 施策3 ボランティア活動の充実

基本目標3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～

- 施策1 人材ネットワークの充実
- 施策2 施設ネットワークの充実
- 施策3 地域ネットワークの充実

基本目標4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～

- 施策1 情報提供体制の強化
- 施策2 相談体制の強化
- 施策3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1	学ぶ～様々な学びの提供～						
施策	1	ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
乳幼児期における 学びの充実	1	ママ・パパ教室	昭和58年度(推定)	赤ちゃんを産み育てていくための準備・沐浴体験を行います。	こども家庭保健課	令和8年3月31日までに15回実施し、妊婦やその家族に、妊娠・出産・子育てに必要な知識の普及や情報提供を行うことができました。	夫婦そろって参加しやすいよう今後も土曜日・日曜日に開催を計画します。	
	2	久喜市ママパパ支援動画	令和2年度	妊婦の方や家族の方が安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう動画を配信します。	こども家庭保健課	乳幼児健診、ママ・パパ教室等において、これまでに作成した動画の周知を行いました。	動画を活用していただけるよう引き続き周知を行うと共に、必要に応じて新たな動画を作成します。	
	3	ブックスタート事業	令和元年度	4か月児健康診査時において、未就学児とその保護者のために絵本の紹介と読み聞かせをします。	こども家庭保健課 生涯学習課	【こども家庭保健課】 4か月児健診において、ブックスタート事業の場を提供しています。 【生涯学習課】 保健センター(中央・菖蒲・栗橋・鷺宮)の4か月児健診の実施にあわせてブックスタート事業を行うことにより、乳幼児へ向けた読書環境の強化を図ることができました。 令和7年度実績:733冊絵本配布(内訳:中央316冊、菖蒲48冊、栗橋139冊、鷺宮230冊)	【生涯学習課】 こども家庭保健課と生涯学習課が連携して、事業を行う必要があります。	
	4	久喜市つどいの広場「きらきら」	平成21年度	乳幼児とその保護者、妊婦中の方で交流したり、子育て仲間をつくったりすることのできる場を提供します。	子育て支援課	講習会5回で57組の延べ117人、イベント27回で250組の延べ514人、交流会11回で79組の延べ161人の参加がありました。	概ね定員数を満たし、イベント等を実施することができました。引き続き、参加人数を維持するためにホームページ等を活用した周知や親子が興味関心を持つ内容の実施に努めます。	
	5	育児教室	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	乳幼児の保護者を対象に、よりよい育児の方法を考えていく場を提供します。 【児童センター】0・1歳児 【鷺宮児童館】未就学児	こども育成課	【児童センター】全7回で企画し、7回すべて開催しました。延べ49組の参加がありました。 【鷺宮児童館】全6回で企画し、6回すべて開催しました。延べ37組の参加がありました。	時代に合わせて、講座内容を見直していく必要があります。	
	6	幼児教室	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	幼児とその保護者を対象に、様々な活動をとおして、就園に向けて集団活動に慣れる場を提供します。 【児童センター】2・3歳 【鷺宮児童館】1歳から3歳	こども育成課	【児童センター】全7回で企画し、7回すべて開催しました。延べ65組の参加がありました。 【鷺宮児童館】全5回で企画し、5回すべて開催しました。延べ74組の参加がありました。	時代に合わせて、講座内容を見直していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1	学ぶ～様々な学びの提供～						
施策	1	ライフステージに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	7	遊びの広場、ふれあい遊び、園庭開放	平成20年度(久支セ) 平成18年度(栗支セ) 平成24年度(鷺支セ)	子どもたちが安全に楽しく遊びながら、健全に成長できる場を提供します。	子育て支援課	遊びの広場・ふれあい遊びの開所日数、園庭開放回数および利用者人数の実績は次のとおりです。 【久支セ】 開所日数は245日で、利用者は延べ4,611人でした。園庭開放は8回実施し、利用者は延べ67人でした。 【栗支セ】 開所日は245日で、利用者は延べ4,861人でした。園庭開放は10月と11月の各月1回実施し、延べ47人でした。 【鷺支セ】 開所日数は245日で、利用者は延べ7,982人でした。園庭開放は毎日実施し、利用者は延べ2,395人でした。 ※雨天・熱中症警戒アラート発表時を除く	【久支セ】 市内全域や市外の方等に幅広く利用されるための周知やアプローチの方法を検討します。 【栗支セ】 より多くの人にイベントに参加してもらえるよう、子育てLINE登録の周知やアプローチの方法を検討します。 【鷺支セ】 支援センターに興味・関心をもってもらい来所につながるような周知方法を検討します。	
	8	市長と子どもたちとのオンラインミーティング	令和4年度	市政への理解を深めてもらうとともに、夢のある幅広い子どもの意見や要望を市政に反映させるため、市長との意見交換を実施します。	シティセールス課	小学校6校、中学校2校の合計8校で実施しました。(青毛小学校、菖蒲東小学校、東鷺宮小学校、久喜東小学校、久喜北小学校、江面小学校、鷺宮西中学校、太東中学校) 各学校4～5名の児童・生徒が、市長と意見交換を行いました。	こどもたちの意見等をどのように市政へ反映できたか、進捗確認を行う必要があります。 また、令和7年度で市内全ての小・中学校で実施済みとなったため、今後の実施計画について検討する必要があります。	
	9	ローズバーグ市との国際交流事業	昭和62年度	市内中学生のローズバーグ市への派遣及びローズバーグ市の中学生等の受入による国際交流活動を実施します。	市民生活課指導課	令和7年度は7月15日(火曜日)から25日(金曜日)までの11日間、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ローズバーグ市の中学生8人、小学生2人、引率者3人を久喜市内の中学生及び高校生の家庭で受け入れました。 ローズバーグ市の中学生等は、学校体験、市内・県内見学、文化体験や受入家庭との交流などを通じて、日本の文化や伝統、習慣等について、理解を深めることができました。 また、久喜市の中学生及び高校生は、英語でコミュニケーションをとることにより語学力の向上を図ることができました。	令和7年度の受入では、ローズバーグ市からの来日生徒数が予定より少なかったため、ローズバーグ市の担当者との綿密な調整および事業の積極的な周知が必要になります。 また、原油価格の高騰により、航空券料金の増額が予想されるため、予算等について検討していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～							
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	10	子ども自然観察会	平成9年度(推定)	生態園と施設を活用し、昆虫・植物などの自然の大切さを学びます。	環境課	令和7年度については環境学習会において、自然とふれあう機会として森林環境教育ツアーを開催することとしたため、実施を見送りました。 本年はこれに加えて、市内で被害が多発している外来種をテーマとした環境学習を令和7年10月17日(金曜日)に鷺宮中学校で実施しました。	令和7年度は本事業の実施を見送りましたが、例年子どもたちから人気の事業であるため、今年度以降も取り組んでいきます。	
	11	青少年健全育成事業	平成23年度(推定)	各青少年健全育成活動団体が主催する事業を通じて、青少年健全育成の推進を図ります。	こども育成課	青少年育成団体(6団体)に対し、活動費補助金を交付し、青少年の健全育成に寄与しました。 また、各地区における青少年防犯パトロール及び啓発活動に参加し、犯罪等の抑止に努めました。	団体に対し、従来の事業にこだわらない新しい形の事業の提案等について検討する必要があります。	
	12	児童館の催し・イベントの拡充	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	木工作や季節の折り紙、電気教室等、子どもたちが楽しめるイベントを開催します。	こども育成課	【児童センター】 令和7年度は小学生以上向けに63事業を企画し、63事業すべて開催できました。小学生以上の参加者は延べ912人でした。 【鷺宮児童館】 令和7年度は小学生以上向けに9事業を企画し、9事業すべて開催しました。小学生以上の参加者は延べ53人でした。	参加者の少ない事業があるため、魅力的な企画や、事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。	
	13	健全な遊びの場と年齢に応じた各種事業	平成26年度(推定)	子どもたちが、自主的な活動や遊び、会館で計画する行事への参加等とおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちを育成します。	人権推進課(しょうぶ会館)	令和7年11月30日(日曜日)にしょうぶ会館内において「ふれあいまつり」を開催し、大人子ども合わせて参加者数200人でした。各種事業(スポーツレクリエーション、各種創作、移動図書館、読み聞かせ等)の参加を通じて、子どもたちのチャレンジ精神を促し、自主的な活動や遊びにつなげる一助となるようイベントを開催しました。	施設の面積、職員数に見合う事業の見直をします。	
	14	小学生イングリッシュキャンプ	平成25年度	外国語指導教員と交流し、グローバル化に対応した国際人を育成します。	指導課	令和7年度は、加須げんきプラザにて、7月31日(木曜日)～8月1日(金曜日)の1泊2日の宿泊型で実施しました。52名の児童、9名のALTが参加し、2日間かけてALTが企画した英語を使った様々なアクティビティに参加しました。2日目には、学んだ英語を使い、自己紹介やALTの母国の文化などについて発表を行うことができました。	令和7年度末をもって、加須げんきプラザが閉館するため、場所や内容を変更して実施していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～							
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
青少年期(小学生～高校生)における学びの充実	15	中学生学力アップ教育推進事業	平成29年度	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和7年度は、市内全体で215名の中学生が参加しました。学校ごとに年間30回を予定し、299回実施することができました(急な雷雨対応による中止が1回)。生徒の学習習慣の定着や学力向上に寄与することができました。	国や県からの補助金が年々減額されているため、予算の確保が課題となっています。	再掲先 連番No.156
	16	くき検定	平成30年度	これからの久喜市を担う小・中学生に、久喜市の歴史や文化、自然環境等に興味をもつきっかけづくりのために実施します。	指導課	参加者を増やすため、実施方法を昨年度から見直しました。市内の児童・生徒からの初級・中級検定問題募集の期限を早めて7月末までとし、また初級・中級問題の受検方法は家庭からインター ネット上で期間内に何度でもできるよう変更しました。9月1日(月曜日)から10月31日(金曜日)に初級と中級を実施しました(初級参加者が314名、中級参加者が70名)。11月7日(金曜日)に、リモートで上級を実施しました(参加者8名)。12月7日(日曜日)には上級合格者上位5名による決勝大会を実施し、参加者の総計はのべ392名となりました。	決勝大会において、初の試みとして、「観客参加型問題」を実施したが、十分に浸透させることができず、回答者に「楽しい」より「難しい」という印象を与えてしまいました。対策として、年度当初より、決勝大会の概要について広く周知していきます。	
	17	GoogleジュニアICTリーダー育成講座	令和4年度	Googleスライドを活用したプレゼンテーションの仕方や、Googleサイトを活用した市の魅力発信の方法等について学ぶ機会を提供します。	指導課	令和7年度は、8月2日(土曜日)と11月14日(金曜日)の2回、ジュニアICTリーダー講座を開催し、小学生36名、中学生22名が参加しました。1回目はGoogleスライドを使ったプレゼンテーションについて、2回目はGoogleサイトを使った情報発信について、Googleの講師の方から直接指導されました。各種講座への参加を通じ、市内小中学生のICTを活用した情報活用能力向上に寄与することができました。	参加している学校に偏りがあるため、直接保護者へチラシを配布するとともに、実施内容についても改善していきます。	
	18	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 ・参加児童数:2,842人 ・開設講座数:338講座(全21ゆうゆうプラザでの総計) ・実施委員人数: 387人 サポーター数 1,809人 ・児童参加率:42.9%	子どもたちの興味・関心を高めるために体験型講座を含めた新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のさらなるDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。	再掲先 連番No.125,158,198

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	19	子ども大学くき	平成24年度	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和7年度は、定員50人に対して40人の申し込みがあり、次のとおり実施しました。 (内訳4年生9人 5年生14人 6年生17人) ・1日目 日程:9月7日(日曜日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「みんなで踊ろう!からだで学ぼう!」 ・2日目 日程:9月14日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「広報紙から学ぶ!見やすいデザインの作り方」 ・3日目 日程:9月21日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「自分で家の設計をしてみよう!」 ・4日目 日程:9月28日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「模擬選挙をやってみよう!」 各講座90%以上の児童が勉強になったと回答しました。 参加児童にアンケートを実施し、参加児童の希望する開催時期や講座メニュー等を調査しました。	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。 また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。	再掲先 連番No.162
	20	青少年教育の充実	令和5年度	生涯学習施設を活用した青少年教育について検討し、充実します。	生涯学習課	当該年度に二十歳を迎える方で構成される「二十歳の成人式実行委員会」を令和7年10月6日(月曜日)に生涯学習施設で実施しました。その後、地区ごとに約2回の話し合いを設け、企画や進行に向けた準備を行いました。	今後、さらに幅広く青少年教育に関する学びの提供を検討していく必要があります。	
	21	子ども歴史広場	平成15年度	子どもたちが行事や昔の遊びに接する機会を提供します。	郷土資料館	令和7年度は、次のとおり実施しました。 第1回:令和7年7月23日(水曜日)実施 「懐かしいおもちゃと飾りづくり」(参加人数:16人) 第2回:令和7年8月6日(水曜日)実施 「昔の道具体験」(参加人数:19人) 第3回:令和7年8月22日(金曜日)実施 「勾玉づくり」(参加人数:17組51人)	より多くの子ども達に興味を持って参加してもらえるよう、郷土資料館ボランティアと調整しながら、今後も開催日や内容を検討していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～							
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
成人期における学びの充実	22	発達障がい児等総合支援事業	令和2年度	発達障がいのある子を育てている保護者同士が集うペアレントメンター事業や発達障がいを考える講演会を開催します。	障がい者福祉課	発達障がい児の保護者や支援者等が発達障がいの特性を理解し、必要な知識や適切な対応を考える機会及び保護者間の交流の場を提供しました。 発達障がいを考える講演会については、令和7年5月31日(土曜日)に実施し、49名の方に参加いただきました。 ペアレントメンター事業については、令和7年10月14日(火曜日)・21日(火曜日)・28日(火曜日)に実施し、延べ11名の方に参加いただきました。	発達障がいを考える講演会、ペアレントメンター事業、共に参加者の集客が課題です。対象者に対し積極的に周知を行っていきます。	
	23	二十歳の成人式事業	平成31年度(推定)	二十歳の門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を支援します。	生涯学習課	令和7年度は令和8年1月11日(日曜日)に、4地区3会場(久喜地区と鷺宮地区は久喜総合文化会館、菖蒲地区は菖蒲文化会館(アミーゴ)、栗橋地区は栗橋文化会館(イリス))で開催しました。当日は、973人の方が出席し、門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促しました。	式当日、強風で会館外に設置した立て看板が破損してしまう地区がありました。また、駐車場が見込みより混雑したため、適正な誘導員の配置が必要です。今後は強風対策と混雑を見込んだ人員配置の見直しをしていきます。	
	24	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院	平成7年度	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和7年度は4月12日(土曜日)に入学式・始業式を実施しました。令和8年3月31日現在、学生数は1年生13名、2年生9名、大学院生2名となります。 1年生31講座、2年生21講座および特別活動は、中止となってしまった2月1日の「まなびすと久喜」・準備以外は予定通りの進捗状況です。 また、令和7年度卒業式および修了式を2月28日(土曜日)に実施し、卒業者・修了者数は次のとおりです。 ・1学年:13人 ・2学年:9人 ・大学院生:2人	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。	再掲先連番No.90
	25	子育て講座	平成28年度(推定)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和7年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施しました。大人977人に参加をいただきました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催しアドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	中学校でのアドバイザーの活用の推進及び、アドバイザーの人材不足が課題です。	再掲先連番No.200

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～							
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	26	家庭教育学級	平成27年度(推定)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和7年度は補助金交付申請のあった12団体に対して、208,000円を交付し、34の家庭教育事業が実施されました。	市内対象団体に対して、実際の活用団体数が少ないという現状から、より多くの団体が活用できるよう周知方法を見直していきます。市内小中学校では、PTAが解散傾向にあります。PTAに代わる団体に対しても周知を行っていきます。	再掲先連番No.201
	27	埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーの活用	令和5年度	久喜市在住の埼玉県家庭教育アドバイザー、ネットアドバイザーに協力いただき、保護者向けに、子育てやインターネットトラブルに関する悩み等の学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和7年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小中学校で実施しました。大人977人に参加をいただきました。その中で、「デジタル社会の子育て」について講義・ワークショップを行いました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催しアドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	中学校でのアドバイザーの活用の推進及び、アドバイザーの人材不足が課題です。	
	28	鷲宮催馬楽神楽伝承教室	平成15年度	鷲宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和7年度は定員20人とし、応募は10人で、9月から10月にかけて全10回で実施しました。鷲宮催馬楽神楽保存会を講師としてお迎えし、第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールで神楽の練習を行いました。第10回は令和7年10月26日(日曜日)に鷲宮文化祭でその練習成果を発表しました。	国指定重要無形民俗文化財「鷲宮催馬楽神楽」の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていく必要があります。	再掲先連番No.60
	29	古文書学習会	平成15年度	郷土に関する古文書の解説を通じて、郷土の歴史を再認識する学習会を開催します。	郷土資料館	令和7年度は、定員36人とし、応募人数36人で、5月から11月にかけて全10回実施しました。テキストは主に江戸時代の古文書(館蔵資料)を使用しました。	古文書を学ぶ機会をより多くの方に提供するため、参加者が偏らないように、講師と調整しながら、古文書の習熟度に応じた学習方法や内容を検討していく必要があります。	
	30	高齢者の職業能力開発と活動支援	平成18年度(推定)	シルバー人材センターとの連携により、職業能力開発による高齢者の就業援助と、高齢者の地域活動への参画支援をします。	商工観光課	久喜市シルバー人材センターに加入している高齢者の就業が図られるように取り組みました。	会員の高齢化や、内容と会員の希望条件との間のミスマッチが課題となっています。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～							
施策	1 ライフステージに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
高齢期における学びの充実	31	はつらつ運動教室	平成18年度	高齢者の心身機能の維持向上を図るため、運動の機会を提供します。	高齢者福祉課	はつらつ運動教室は、高齢者の心身機能の維持・向上の指導や要介護状態への進行の予防を目的とし、はつらつリーダーの指導により運営しています。 令和7年度は、40会場(新規会場を含む)で、はつらつ運動教室を実施し、高齢者の健康増進を図っています。	リーダーの不足、会場の不足が課題となっています。 リーダー養成講座に注力し、新規会場の新設に取り組んでいきます。	
	33	アクティブシニア応援サイトの充実	令和元年度(推定)	久喜市ホームページ内に、シニアの方に向けて役立つ情報をお届けします。	高齢者福祉課	いきいきデイサービス、久喜市はつらつ運動教室について市ホームページ・広報に掲載し、サイトを通じて、アクティブシニアの皆様役に役立つ情報を提供しました。 高齢者向けサークル活動について、ホームページに掲載しました。	引き続き、介護予防に関するサービスなどをホームページに掲載し、情報発信していきます。	
	34	高齢者大学(スマイルキャンパス)	昭和54年度	実生活に即した教養の向上を図り、趣味活動や社会参加による生きがいを充実させるための講座を充実します。	生涯学習課	令和7年度は4月11日(金曜日)に入学式・始業式を実施しました。令和8年2月16日(月曜日)に卒業式・修了式を実施し、1年生44人、2年生47人、3年生37人が進級し、4年生35人が卒業しました。 講座や学校行事はおおむね予定どおり実施できました。 3月末までの講座出席率は、1年生87.4%、2年生85.0%、3年生85.3%、4年生70.2%でした。 また、多くの学生が生涯学習施設「まなびすポット」を使用しています。	年々学生の平均年齢が高くなりつつあるため、学生の負担がなるべく少なくなるように、学校行事やボランティアについて検討する必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
人権を尊重した教育の推進	35	人権啓発事業「人権のつどい」	令和6年度	様々な人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、市内4地区で人権啓発事業を開催します。	人権推進課 各行政センター 総務・人権係 生涯学習課	令和7年11月8日(土曜日)、久喜総合文化会館にて「人間尊重・平和の日」を開催し、1,229人が来場しました。	このイベントの内容を広く知ってもらうことが観客数の増加につながると考えます。人間尊重・平和を考える場であることをアピールし、試行錯誤しながら今後の企画を検討していきます。	
	36	広報啓発活動や講演会	広報:平成21年度(推定) 啓発活動: (栗橋)平成24年度(推定) (鷺宮)平成7年度(推定)	広報紙に「人権それは愛」の掲載や、啓発物品の配布、人権啓発講演会を開催します。	人権推進課 各行政センター 総務・人権係 生涯学習課	広報くきにおいて、毎月人権に関する様々な情報を掲載しています。人権啓発活動を、各地区で実施します。 久喜地区:令和7年8月1日(金曜日) 久喜駅において駅頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を625個配布しました。 菖蒲地区:令和7年8月19日(火曜日) モラージュ菖蒲において街頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を725個配布しました。 栗橋地区:令和7年12月4日(木曜日) 栗橋駅において駅頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を669個配布しました。 鷺宮地区:令和7年12月9日(火曜日) アリオ鷺宮において街頭人権啓発活動を実施し、人権標語入り啓発品を625個配布しました。	啓発は、継続していくことが大切です。これまでの方法を繰り返し啓発していくとともに、新たな啓発方法も検討しながら、今後も人間尊重・平和を考える機会を提供していきます。	
	37	社会を明るくする運動	平成23年度(推定)	犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築こうとする法務省提唱の運動を推進します。	社会福祉課	7月25日(金曜日)に講演会を実施しました。「特殊詐欺の被害防止について」及び「インターネットや携帯に係る詐欺について」をテーマに、久喜警察署及び埼玉県警察本部の方に講演をいただきました。講演会の参加者は121名でした。 また、7月の強化月間中は、久喜駅東口及び西口に横断幕を設置し、市庁舎へ懸垂幕を掲出しました。 10月19日(日曜日)くきストリートフェスティバル、10月26日(日曜日)わしのみやコスモスフェスタ、11月3日(月曜日)菖蒲産業祭、11月16日(日曜日)栗橋やさしさときめき祭りにて、パンフレット及び啓発品を合計1,300部配布しました。	講演会の参加者をより増やすため、周知団体を追加します。 また、街頭啓発については市のイベントに参加をし、より多くの方に啓発品を配布します。	
	38	人権教育推進事業(しょうぶ会館でのふれあい教室等)	平成23年度	学習活動をととして、支えあう仲間づくりを進め、好ましい人間関係を育てるとともに、人と人の交流の中で人権意識の高揚を図ります。	生涯学習課	児童に配布されているタブレットを活用して募集を行い、学習会の他、工作や料理など様々な教室を実施しました。 参加人数:543人	参加者の確保のため、周知方法等を検討します。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	39	PTA人権教育研修会	平成23年度	様々な人権問題を解消し、差別のない明るい地域社会を実現するための研修会等を充実します。	生涯学習課	PTA人権教育研修会を4回実施しました。 第1回日時:6月26日(木曜日) 会場:菖蒲文化会館 講師:幸島美智子(こうじまみちこ) テーマ:～家庭・地域で考える～子どもをいじめや犯罪の被害者・加害者にしないために 参加者数:63人 第2回日時:8月22日(金曜日) 会場:久喜総合文化会館 講師:渡辺真由子(わたなべまゆこ) テーマ:インターネットによる人権侵害 参加者数:62人 第3回日時:11月11日(火曜日) 会場:栗橋文化会館 講師:秦由加子(はたゆかこ) テーマ:自分次第で人生は変わる～どんなことがあっても前へ続く道がある～ 参加者数:50人 第4回日時:1月20日(火曜日) 会場:鷲宮行政センター会議室 講師:岡嶋浩志(おかじまひろし) テーマ:親子のコミュニケーションを考える～お互いを尊重した関わりを目指して～ 参加者数:33人	様々な人権問題のうち、関心の高い人権問題・課題を選定し、人権意識の向上や人権問題に対する正しい理解と認識を深められるよう、継続して実施していく必要があります。 なお、より多くの方に研修会に参加していただくために、児童、生徒の保護者をはじめ、広く市民に向けて、広報くきやホームページ、SNSなどを用いて開催の周知を図っていきます。	
	40	社会人権教育指導者養成講座	平成23年度	企業・事業者を対象に人権教育指導者の養成につながる講座を実施します。	生涯学習課	社会人権教育指導者養成講座を令和8年2月5日(木曜日)に実施しました。 会場:久喜総合文化会館 講師:山田泰造(やまだたいぞう) テーマ:カスタマー・ハラスメント対応術 参加者数:153人	企業・事業者等から参加していただいた多くの方に、差別意識の解消や人権問題に対する正しい理解と認識を深めるとともに、企業・事業者が自らの事業所内で人権教育に取り組んでいけるよう、毎年継続して実施していく必要があります。	
	41	教育集会所事業	平成23年度(推定)	地域住民の人権感覚・人権意識の高揚、地域住民相互の交流を図ります。	生涯学習課	各種教室・講座等を実施しました。 参加者数:932人	各種教室・講座や事業を実施し、人権意識の高揚と地域住民の交流を図っていく必要があります。 地域住民や参加者の意見を確認しながら、参加者の増加につながるよう事業の充実を図っていきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	1 学ぶ～様々な学びの提供～
施策	2 共生社会の学びの支援

具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	42	久喜市の社会人権教育、人権啓発冊子発行	平成23年度	冊子を発行することにより、人権感覚・人権意識の高揚に努めます。	生涯学習課	令和7年度の事業内容を掲載した冊子を小・中学校等へ配布しました。	引き続き、小・中学校等へ冊子を配布し、人権意識の高揚を図るため、毎年継続して実施していく必要があります。	
障がい者の学びの推進	43	フレンドシップ学級事業	平成13年度	交流会、創作活動、レクリエーション等の事業を実施します。	障がい者福祉課	4月に令和7年度の総会を開催し、今年度を実施したい活動を決定しました。5月、6月、10月、2月、3月に活動を実施しました。それぞれ5月5名、6月5名、10月2名、2月5名、3月4名が参加しました。11月も活動予定でしたが参加者0名のため中止となりました。	参加者が高齢化しているため、新規参加希望者を募り、事業の活性化が必要です。	
	44	障がい者パソコン講座	平成16年度(推定)	視覚障がい者・上肢機能障がい者を対象とした、パソコンを使っでの基本的な技能を習得します。	障がい者福祉課	広報くき9月号にて障がい者パソコン講座の受講者を募集しましたが、受講希望者がいなかったことから実施を見送りました。視覚障がい者向けのスマートフォン講座を11月20日(木曜日)、12月2日(火曜日)、12月11日(木曜日)に実施し、2名の受講者が参加しました。必須なツールとなっているスマートフォンを生活に取り入れるきっかけになりました。	スマートフォンの普及に伴い、パソコン教室のニーズが低下している可能性があるため、引き続きスマートフォン教室も実施していきます。	
	45	生活支援及び障がいに応じた作業支援	平成18年度	在宅の障がい者に、必要な自立訓練、創作・生産活動、社会との交流促進の場を提供します。	障がい者福祉課	日々の活動を通して、自立訓練や社会との交流の経験を積み、利用者の状況に応じて活動参加を促すことで、意欲の向上に繋がりました。	支援を必要とする方が適切にサービスを利用できるよう、引き続き情報提供や周知を行っていきます。	
	46	地域福祉推進のためのワークショップ	平成19年度	地域福祉推進のためのワークショップを実施します。	久喜市社会福祉協議会	令和7年度の実施はありません。	実施について検討していきます。	
	47	ふれあいスポレク・フェスタ	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和7年12月15日(月曜日) 会場: 久喜特別支援学校 概要: 若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数: 39名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会を開催していきます。	再掲先 連番No.83,109

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 2 共生社会の学びの支援						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
性別や国籍を問わない学びの推進	48	男(ひと)と女(ひと)のつどい	平成16年度	男女共同参画の推進を図るため、市民団体と協働で啓発イベントを開催します。	人権推進課	令和7年度は外部から展示団体の募集を試み、イベントの周知・拡大に努めました。 実施日:令和7年6月28日(土曜日) 会場:久喜中央コミュニティセンター 参加者:234名 主催:久喜市・女(ひと)と男(ひと)いきいきネットワーク久喜 内容: ・記念講演:浅野富美枝氏「災害時にだれ一人取り残さない久喜市をつくるために～男女共同参画と多様性に配慮した視点の地域防災・減災～」 ・ステージ発表、活動展示・作品展示、喫茶・物品販売コーナー、人権相談・女性相談コーナー、ワークショップ等 記念講演、男女共同参画に関する作品展示や市内で活躍する女性団体の活動展示等を通して、参加者への意識向上や男女共同参画の推進を図りました。	参加者の年代層が比較的高齢のため、より幅広い年代層への訴求と、参加団体においても新規団体を募集することで、より幅広い市民へアピールを図ります。	
	49	いきいき女性議会	平成13年度	行政や議会に対する女性の参画意識を高めるため、女性の意見や要望等を市政に反映させる機会として女性議会を開催します。	人権推進課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 実施日:令和7年10月27日(月曜日) 主催:久喜市・女(ひと)と男(ひと)いきいきネットワーク久喜 後援:久喜市議会 会場:久喜市役所本庁舎5階議場 女性議員:8名(公募:一般3名、大学生1名、高校生4名) 傍聴:19名	公募の女性議員の募集に向けて関係各所との調整を行います。	
	50	男女共同参画1日体験学習ツアー	平成22年度	男女共同参画に関する理解や認識を深められるよう、市民を対象とした体験学習や施設見学を実施します。	人権推進課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 実施日:令和7年6月12日(木曜日) 参加者:26名 見学先:熊谷市立荻野吟子記念館、さきたま古墳公園 移動時に男女共同参画ミニ講座を実施し、見学先にて女性の社会進出に寄与した人物の功績や市に縁のある男女共同参画に貢献した方について学ぶ機会の提供ができました。	現役世代の参加者が少ないことから、現役世代にも関心のあるテーマをはじめ、時間や場所や方法などについても将来的に検討を進めていきます。	
	52	久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック	令和3年度	久喜市で生活するために必要なことがやさしい日本語と英語で書いてあるガイドブックを配布します。	市民生活課	令和4年3月に発行した「久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック(やさしい日本語版・英語版)」については、情報の削減、要点の整理等内容の見直しを図っています。	「久喜市で生活する外国人のためのくらしのガイドブック(やさしい日本語版・英語版)」については、ページ数が多く、見づらいとの意見をいただくため、ページ数の削減及び内容の見直しを図る必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	53	本多静六記念館	平成26年度	本多静六博士の直筆の資料や遺品等の貴重な資料、博士が手がけた全国各地の公園や観光地のポスターを常設展示します。	菖蒲行政センター総務管理課文化振興課	【文化振興課】 令和7年度は、次のとおり実施しました。これにより、本多静六博士に関する業績を記念館の展示をとおして学んでいただくことができました。 本多静六記念館開館(291日) 見学者数4,185人(うち団体見学10件(のべ395人)案内)	本多静六記念館の団体見学の受入れ等を今後も継続して実施する必要があります。	
	54	市民大学公開講座	平成7年度(推定)	久喜市の歴史や自然環境に特化した公開講座を実施します。	生涯学習課	令和7年度は次のとおり公開講座を実施しました。 ・4月26日(土曜日)「歴史探訪『地域史に親しむ』」市民参加者:12名 ・5月10日(土曜日)「鷲宮神社と催馬楽神楽」市民参加者:9名 ・6月14日(土曜日)「本多静六博士と渋沢栄一」市民参加者:12名 ・7月5日(土曜日)「地球温暖化について」市民参加者:6名 ・8月1日(金曜日)「埼玉の文学を読む」市民参加者:3名 ・8月9日(土曜日)「地元栗橋から見た利根川東遷」市民参加者:9名 ・9月20日(土曜日)「宇宙開発/探査の現状と今後」市民参加者:10名 ・10月4日(土曜日)「菖蒲のお殿様とその村々」市民参加者:11名 ・10月25日(土曜日)「久喜市に伝わる伝統行事」市民参加者:3名 ・11月8日(土曜日)「久喜市の環境を河川から見てみよう」市民参加者:3名 ・12月3日(水曜日)「足利政氏と甘棠院」市民参加者:5名 ・12月13日(土曜日)「生涯学習の今までとこれから」:市民参加者16名 ※令和7年度の高齢者大学公開講座(オープン高大)は次の通り実施しました。 ・6月30日(月曜日)「埼玉県の偉人 下總皖一」市民参加者:4名 ・8月29日(金曜日)「久喜市ゆかりの作家 中島 敦」市民参加者:7名 ・9月22日(月曜日)「論語を学ぶ」市民参加者:6名 ・1月30日(金曜日)合同教養講座「ところをつなぐコミュニケーション」市民参加者:4名	今後も、公開講座をきっかけとする市民大学の学生数の増加につなげていくため、ホームページ、広報くき等での周知を図る必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連 番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	55	コミュニティセンターまつり	平成22年度(推 定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運 営委員と地域住民との協働により、各コ ミュニティセンター利用団体の展示や演技 発表等を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、7地区で実施しました。 ・清久地区:9月27日(土曜日)～9月28日(日曜日) 会場:清久コミュニティセンター 720人参加 ・久喜中央地区:12月20日(土曜日)～12月21日(日曜 日) 会場:久喜中央コミュニティセンター 404人参加 ・江面地区:1月24日(土曜日)～1月25日(日曜日) 会場:江面小学校 250人参加 ・菖蒲地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:森下コミュニティセンター 500人参加 ・栗橋地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:栗橋中央コミュニティセンター 400人参加 ・久喜東地区:2月21日(土曜日)～2月22日(日曜日) 会場:久喜東コミュニティセンター 950人参加 ・青葉地区:2月28日(土曜日)～3月1日(日曜日) 会場:青葉コミュニティセンター 400人参加 なお、鷺宮地区は、2月7日(土曜日)、2月8日(日曜 日)に鷺宮中央コミュニティセンターで実施予定でしたが、会 場が衆議院議員総選挙の投票所となったため中止と なりました。	地区毎の集客方法や事業実施が 望まれるため、各地区運営委員会 で協議していきます。	再掲先 連番No.102,127, 207

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
「地域を知る」学びの推進	56	図書館自主事業の充実	令和元年度	市民の学習活動・課題解決を支援するために、利用者のニーズを反映した図書館自主事業を提供します。	生涯学習課	市立図書館(中央・菖蒲・栗橋・鷺宮)で、こども、大人、親子と各世代別に事業を実施し、図書館の利用促進を図りました。 調べ学習での活用を促進する事業として「第5回久喜市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催したところ、市内小・中学生から1,638作品の応募がありました。その中から、18作品を全国コンクールに推薦し、2作品が優良賞、3作品が奨励賞に入選しました。	市民の要望に沿った事業を実施し、事業参加者数の増加に努める必要があります。	
	57	生涯学習出前講座の充実	平成10年度	多彩な生涯学習機会を提供し、内容を充実します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、25種類のメニューについて80件の申請がありました。 そのうち、38件を危機管理課が実施し、その他にはシティセールス課、市民生活課、障がい者福祉課、学校給食課等をはじめとする庁内14部署が講座を実施しました。 民間団体のメニューからはさいたま司法書士会と埼玉東部消防組合の2件を実施しました。	出前講座の周知を図り、さらなる活用を推進する必要があります。	再掲先 連番No.163
	58	久喜歴史だより	平成25年度	広報くきに毎月テーマを変えて「久喜歴史だより」を掲載します。	文化振興課 郷土資料館	令和7年度は以下の記事を掲載しました。また、7月号までの記事をホームページに掲載し、検索されやすくなりました。これにより、市民等に本市の歴史を学んでいただくことができました。 ・4月号「第160回昭和初期の文集にみる菖蒲町の子ども達」 ・5月号「第161回久喜高等女学校の教師 本多まつ江の激動の人生」 ・6月号「第162回鷺宮催馬楽神楽の舞台「神楽殿」」 ・7月号「第163回古羽天神社の獅子舞」 ・8月号紙面の都合により休載 ・9月号「第164回昭和20年の本多静六博士」 ・10月号「第165回日本の放送の要 NHK菖蒲久喜ラジオ放送所」 ・11月号「第166回深沢七郎と田中清玄の偶然」 ・12月号「第167回写生旅行で描かれた「雪の栗橋」と「利根川の一夜」」 ・1月号「第168回栗橋の古文書で謎の「うつろ舟」発見！」 ・2月号「第169回橋の渡り初め」 ・3月号「第170回星川で保護されたオオサンショウウオ」	市民が興味や関心のある郷土の歴史や文化財に関する情報を、今後も継続して発信していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	59	特別展・企画展の実施	平成12年度	郷土資料館においてテーマを設けた展示を実施し、郷土の歴史と文化を再発見する機会を提供します。	郷土資料館	令和7年度は、常設展示のほか、収蔵品展、巡回展、特別展を実施しました。 ・展示室2 収蔵品展「ちょっとむかしの道具たち―農家の仕事―」(令和7年4月1日(火曜日)～8月31日(日曜日)) 126日間実施 来館者数:2,893人 ・展示ホール 東部地区文化財担当者会40周年記念リレー展示「都鳥が見た古代―埼玉県東部地区の奈良時代・平安時代―」(令和7年5月3日(土曜日)～5月25日(日曜日)) 20日間実施 ・展示室2 第15回特別展 昭和100年・放送100年記念 昭和ラジオテレビ物語～「鉄塔」のあるまち久喜～(令和7年10月11日(土曜日)～令和8年3月8日(日曜日))109日間実施 来館者数3,646人	更なる郷土学習の向上のため、展示室や展示ホールを活用しながら、より多くの館蔵資料等を今後も積極的に公開していく必要があります。	
	60	鷺宮催馬楽神楽伝承教室※再掲	平成15年度	鷺宮催馬楽神楽の後継者を育成するため、基礎から学べる伝承教室を開催します。	郷土資料館	令和7年度は定員20人とし、応募は10人で、9月から10月にかけて全10回で実施しました。 鷺宮催馬楽神楽保存会を講師としてお迎えし、第1回から第9回まで郷土資料館視聴覚ホールで神楽の練習を行いました。第10回は令和7年10月26日(日曜日)に鷺宮文化祭でその練習成果を発表しました。	国指定重要無形民俗文化財「鷺宮催馬楽神楽」の後継者を大切に育てていくため、同神楽保存会と調整しながら、受講生が長く取り組んでもらえるような教室にしていきたいと思います。	再掲元 連番No.28

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
「命を守る」学びの推進	61	交通安全の街頭啓発活動	平成26年度(推定)	交通安全意識の高揚のために普及啓発活動を実施します。	交通住宅課	令和7年春の全国交通安全運動に伴い、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:4月11日(金曜日)イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:4月10日(木曜日)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:4月9日(水曜日)マミーマート栗橋店 ・鷺宮地区:4月15日(火曜日)アリオ鷺宮 令和7年夏の交通事故防止運動に伴う啓発活動として、市ホームページ及び市メール配信サービスによる周知を実施しました。 令和7年秋の全国交通安全運動に伴い、次のとおり街頭啓発活動を実施しました。 ・久喜地区:9月30日(火曜日)イトーヨーカドー久喜店 ・菖蒲地区:9月24日(水曜日)モラージュ菖蒲 ・栗橋地区:9月26日(金曜日)栗橋駅周辺 ・鷺宮地区:9月30日(火曜日)アリオ鷺宮 令和7年冬の交通事故防止運動に伴う啓発活動として、市ホームページ及び市メール配信サービスによる周知を実施しました。	関連団体における活動内容の見直しに伴う脱退や、啓発品の配布による啓発効果が限定的であることが課題でした。 このような課題を踏まえ、令和7年度から、街頭啓発活動の実施内容を見直すとともに、全国交通安全運動及び交通事故防止運動期間において、市メール配信サービスによる周知を実施することとしました。 引き続き、関係団体と協議しながら、最適な啓発活動の実施について検討します。	
	62	総合防災訓練	平成20年度(推定)	災害時、防災活動に対する意識の高揚、啓発を行います。	危機管理課	令和7年9月6日(土曜日)に、4地区4会場で実施しました。 会場は、久喜地区は久喜小学校、菖蒲地区は栢間小学校、栗橋地区は栗橋小学校、鷺宮地区は砂原小学校で実施しました。 参加者数は全会場合わせて246人でした。	訓練に参加された市民が多くの訓練に参加できるよう、企画の検討を行います。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	63	普通救命講習	平成25年度	心肺蘇生法やAEDの使用方法に関する講習を実施します。	埼玉東部消防組合	埼玉東部消防組合で救命講習を実施しました。(久喜市内で実施した回数、参加人員) ○主に成人が対象 ・救命入門コース 44回 762人 ・普通救命講習Ⅰ 74回 875人 ・普通救命講習(WEBⅠ) 12回 130人 ・上級救命講習 2回 20人 ○主に小児・乳児・新生児が対象 ・普通救命講習Ⅲ 15回 138人 ・普通救命講習(WEBⅢ) 8回 92人 上記のとおり救命講習を実施し、心肺蘇生法やAEDの使用方法について普及啓発を行うことができました。	救命入門コースのみ受講する団体もあり、普通救命講習Ⅰ・Ⅲの受講者数が増えない要因の一つになっています。講習申込時に普通救命講習Ⅰ・Ⅲの受講を検討してもらうなど、十分な説明を行う必要があります。	
「環境問題」に関する学びの推進	64	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動	平成12年度(推定)	環境意識の高揚と地域の環境美化意識の促進に努めます。	環境課	令和7年度は5月17日(土曜日)から6月1日(日曜日)までをゴミゼロ週間と位置づけ実施しました。市全体で20,852名が参加しました。	今後、ごみ処理施設が菖蒲に集約された場合の収集されたゴミの回収方法等を再検討する必要がある。 具体的には、久喜宮代衛生組合・八甫清掃センターが事業停止されているため、久喜地区・鶯宮地区・栗橋地区のゴミの直接搬入が困難になることが見込まれる。よって、どのようにゴミを直接搬入してもらうのかについて検討する必要があります。	
	65	廃食油リサイクル学習会	平成14年度(推定)	リサイクル促進事業の一つとして、親子で参加できるせっけん作りの学習会を実施します。	環境課	令和7年度は7月27日(日曜日)に、しみん農園久喜(緑風館)で実施しました。大人5名、子ども10名の合計15名が参加しました。	年数の経過により製造機器の調子が悪く、買い替え予算もないため、機械が故障し次第、事業終了となる可能性があります。	
	66	ノーカーデー	平成12年度(推定)	環境への影響を配慮し、自家用車の使用をできるだけ自粛するノーカーデーを推進します。	環境課	令和7年度についても、引き続き、市の取り組みとしてノーカーデーを推進しました。久喜市環境推進協議会の活動においても令和7年度重点取組事項として掲げ、それぞれの役割の中で実施しています。	ノーカーデーの取組み啓発だけでなく、車に代わる移動手段の啓発も併せて取り組んでいきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実							
具体的施策	連 番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	67	環境学習会	平成9年度(推定)	地球環境問題に関する学習会を開催します。	環境課	11月に予定していた森林環境教育ツアーについては、開催予定地において、クマのものと思われる痕跡が発見されたことから、中止となりました。	左記のような事態が起きた際にも事業を実施できるよう、屋内の学習場所も併せて確保するなどの対応を行っていきます。	
デジタル社会に対応した学びの推進	68	共同オンライン分教室(KDX教室)	令和4年度	学校に登校することが難しい中学生を対象に、オンライン上の仮想教室で同時双方向型の学習支援を行います。	指導課	令和7年度は、昨年度から継続の1名と今年度から利用を開始した5名の、計6名の生徒に対し、オンライン上の仮想教室で学習支援を行いました。市内各中学校の教科指導教職員と不登校生徒をオンラインでつなぎ、同時双方向型の学習の機会を生徒に提供することができました。加えて、オンラインにより実施した面談では、保護者・在籍校・中核校・指導課が一同に会し効果的なものになりました。	不登校に悩む生徒・保護者に対し、学校が共に最適な学び場を模索する機会が不十分であり、利用希望の生徒が少ない課題があります。今後、最適な学び場をより模索できるよう、リーフレットを作成していきます。	
	69	パソコン講習会	平成27年度(推定)	パソコンを使って基本的な技能の習得を目指す講習会を開催します。	生涯学習課	令和7年度は、パソコン講習会の実施はせず、代わりにスマホ講座を実施しました。	地域の方々が求めるデジタル技術を学ぶ場を提供します。	
	70	スマホ講座	令和4年度	スマートフォンを使ってみたい、または使うことに不安がある方を対象に講座を開催します。	生涯学習課	令和7年度は、主に初心者向けの講座を5地区(募集定員延べ125人)で実施し、延べ96人が参加しました。(久喜中央地区9人、久喜東地区12人、清久地区9人、栗橋地区13人、鷲宮地区(複数日)延べ53人)	参加率は全体で77%ですが、参加者数を更に増やすため、興味のある内容を提供できるように検討します。	
	71	インターネットによる学習機会の提供	令和5年度	インターネットを利用した学習や広域的な学習機会の選択等、双方向性の学習機会を提供します。	生涯学習課	令和5年度に吹奏楽フェスティバルでライブ配信を試みましたが、一部機材トラブルが発生したため、取りやめたことなどから、令和6年度以降ライブ配信の導入を見送っています。実施の可否等について、引き続き検討します。	実施にあたっての環境整備など課題も多いことから、市民のニーズに応じて実施の可能性を検討してまいります。	
	72	学習情報の提供	昭和63年度(推定)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行っています。また、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行っています。	さまざまな生涯学習関係事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用し、あらゆる世代の方達に情報を提供していく必要があります。	再掲先 連番No.170

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	75	健康づくり、食育推進に関する啓発事業	平成22年度(推定)	広報くきやホームページ等における健康づくり、食育推進に関する知識や情報を提供します。	地域保健課	・6月29日(日曜日)包括連携協定を活用し、アリオ鷺宮でがん検診啓発イベントを実施しました。 ・運動に関しては、集団がん検診で運動に関するチラシを作成・配布し、健康づくりのための情報提供をしました。 ・9月～10月には、包括連携協定を活用し、市内セブンイレブン店舗へ野菜摂取POPを掲示してもらい、市民へ「まいにち野菜をプラス1皿」を周知啓発しました。 ・骨粗しょう症予防をテーマとして1本、野菜摂取促進をテーマとして2本、計3本の食育動画を作成、配信しました。視聴数は752回でした。	健康づくりや食育推進に関する情報が広く市民へ周知され、市民の意識向上と実践に繋がる効果的な手法を検討する必要があります。 また、様々なイベント等でチラシを配布する等周知に努めます。	
	76	こころの健康講座	平成20年度(推定)	こころの健康に関する知識の普及・啓発に努めます。	地域保健課	こころの健康講座を2回実施しました。 ・1回目は10月15日(水曜日)「毎日をご機嫌に過ごすコツ～感謝を習慣づけよう～」を開催し、聴講者は22名でした。 ・2回目は令和8年2月1日(日曜日)に「睡眠でこころを整えよう ～ストレスに負けない睡眠習慣～」を開催し、聴講者は30名でした。	市民のこころの健康維持・増進や普及・啓発につながるよう、取り扱うテーマや参加者の増加に向けた周知方法について検討する必要があります。	
	77	食生活改善事業	平成22年度(推定)	食生活の改善に関する知識の普及、情報提供に努めます。	地域保健課	次のとおり実施しました。 5月27日(火曜日)、6月3日(火曜日)、8月20日(水曜日)、8月28日(月曜日)、9月16日(火曜日)、10月9日(木曜日)、10月10日(金曜日)、10月31日(金曜日)、11月21日(金曜日)、12月10日(水曜日)骨の健康チェック、カルシウムに関する講話を開催し、参加者数は783名でした。 ・7月28日(月曜日) おやこ料理教室を開催し、参加者数は10組でした。 ・7月31日(木曜日)、10月17日(金曜日) 栄養バランス食講座を開催し、参加者数は39名でした。 ・8月28日(月曜日)、11月20日(木曜日) 骨粗しょう症予防講座を開催し、参加者数は22名でした。 ・9月19日(金曜日)、12月5日(金曜日) 生活習慣病予防講座を開催し、参加者数は42名参加でした。 ・12月2日(火曜日) 貧血を防ぐ食生活講座(女性の健康講座)を開催し、参加者数は18名でした。	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、食生活の改善につながる知識の普及・啓発に務める必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	78	健康づくり事業	平成22年度(推定)	健康に関する必要な知識の普及、情報提供に努めます。	地域保健課	・9月4日(木曜日)、9月19日(金曜日) 今日から始めるウォーキング教室を実施しました。参加者数は23名でした。 ・9月19日(金曜日)、12月5日(金曜日) 生活習慣病予防講座を開催し、参加者数は42名参加でした。 ・令和8年1月30日(金曜日)に「気づいて欲しい! 女性のための健康講座Part1」として、女性ホルモンと甲状腺ホルモンについての医師による講話をオンライン(zoom)にて実施しました。参加者数は52名でした。 ・令和8年2月6日(金曜日)に「気づいて欲しい! 女性のための健康講座Part2」として、乳がん予防についての講話と、シェイプアップ効果のある運動を実施しました。参加者数は12名でした。 ・令和6年4月から開始したコバトンALKOO(あるこう)マイレージ事業(歩数計管理アプリに登録し、歩数に応じてマイレージポイントを獲得できる)の登録者数は1,715名です。	幅広い年代の方に参加していただけるよう、事業の内容を工夫し、健康意識の改善や主体的な健康づくりへの取組みにつながる知識の普及・啓発に務める必要があります。	
	79	よろこびのまち久喜マラソン大会	平成27年度	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和8年3月22日(日曜日) 会場: 総合運動公園スタート・ゴール 種目: ハーフ、ハーフベアリレー、3km、1.5km 参加者数: 3,220人	次回大会も多くの種目で定員に達するよう、大会の魅力を積極的に発信していきます。	再掲先 連番No.106
	80	くき健康ウォーク	平成27年度	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和7年10月26日(日曜日) 会場: 久喜市コミュニティ広場(鷲宮地区) 内容: 地図をもとに、チェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指すウォーキングイベントを開催。当日雨天のため、イベントは中止となりました。 申込者数: 94名	より多くの方に参加いただけるように、情報発信を積極的に取り組みます。	再掲先 連番No.107
	81	スポーツ体験イベント	令和4年度	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	期日: 令和7年11月9日(日曜日) 会場: 毎日興業アリーナ久喜メインアリーナ 内容: 健幸・スポーツフェスタinKUKIとしてスポーツブースや健康ブースを設置し、来場者に運動の楽しさを知るきっかけを提供しました。 来場者数: 延べ3,669名	今後は、商業施設と連携しながら、年に複数回の開催を目指します。	再掲先 連番No.108

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		1 学ぶ～様々な学びの提供～ 3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
「スポーツ・レクリエーション活動」の推進	82	スポーツ情報の発信	令和4年度	スポーツ体験イベントやスポーツ団体、個人の活動等、スポーツ情報を発信します。	スポーツ振興課	期日: 通年 内容: 市ホームページやSNS、広報紙等にスポーツ関係団体の活動やイベント情報を掲載しました。	引き続き情報発信に取り組めます。	
	83	ふれあいスポレク・フェスタ※再掲	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時: 令和7年12月15日(月曜日) 会場: 久喜特別支援学校 概要: 若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数: 39名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会を開催していきます。	再掲元 連番No.47 関連項目 連番No.109
	84	各地区市民体育祭	平成26年度	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和7年度は、5地区で実施しました。 ・江面地区: 9月28日(日曜日) 会場: 江面小学校 580人参加 ・久喜東地区: 10月5日(日曜日) 会場: 久喜東小学校 680人参加 ・清久地区: 10月11日(土曜日) 会場: 清久小学校 550人参加 ・鷺宮地区: 10月12日(日曜日) 会場: 鷺宮運動広場 1,500人参加 ・久喜中央地区: 11月3日(月曜日・祝日) 会場: 久喜小学校 650人参加 なお、10月26日(日曜日)に実施する予定であった青葉地区、菖蒲地区については、雨天によるグラウンドコンディション不良のため中止となりました。 また、栗橋地区については、体育祭再編に向けた準備期間とするため、休止となりました。	参加者数の減少や競技役員の高齢化などの課題を踏まえ、各地区の実情にあわせた体育祭を実施します。	再掲先 連番No.112

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
人材の育成	85	市民後見人養成講座	平成27年度	地域に暮らす同じ市民の立場で寄り添う「市民後見人」を養成します。	障がい者福祉課 高齢者福祉課	令和7年度は、令和6年度に市民後見人養成講座基礎編を修了した方を対象に、10月から全4回で市民後見人養成講座実践編を開催しました。9名中7名が受講し、7名全員が修了しました。	今後も受講者を増やす取り組みが課題となっています、市民後見人養成講座の広報広聴に取り組み、受講を通じて、市民の権利擁護支援の活動への参加の機会の確保に努めていきます。	
	86	認知症サポーター養成講座	平成23年度	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族をあたたく見守る応援者を養成する講座を実施します。	高齢者福祉課	・市主催の市民向けの講座は4回(久喜地区令和7年9月5日(金曜日)、菖蒲地区令和7年6月11日(水曜日)、栗橋地区令和7年7月29日(火曜日)、鷺宮地区令和7年8月28日(木曜日))実施しました。参加人数は、久喜地区24人、菖蒲地区10人、栗橋地区15人、鷺宮地区12人です。 ・久喜市新規採用職員向けの講座は1回(令和7年4月2日(水曜日))に実施しました。参加人数は40人です。 ・生涯学習課の出前講座を令和7年10月30日(木曜日)に実施しました。参加人数は12人です。 ・社協に委託分の講座は5回(中学校令和7年5月16(金曜日)、銀行令和7年7月7日(月曜日)、郵便局令和7年7月18日(金曜日)、老人クラブ2か所令和7年11月7日(金曜日)、令和7年12月17日(水曜日))実施しました。参加人数は中学校60人、銀行10人、郵便局6人、老人クラブ11人及び9人です。	・より市民に認知症について理解していただく機会を増やすため、市主催の実施回数を増やします。 ・実際に身近な人が認知症になったときに後悔しないよう、元気な高齢者の集まりの団体に声をかけていきたいと思います。また、小・中・高校生やその父兄の方々にもお時間を作っていただき、認知症を理解し、その対応の仕方を学んでいただけるよう学校にも声をかけていきたいと思います。すでにサポーター養成講座を受けている高齢者の集まりもありますが、高齢者以外でも介護をしている方々や今後介護をする予定のある方たちが積極的に受けていただけるよう広報等でPRしていきたいと思います。	
	87	はつらつ運動教室リーダー養成講座	平成18年度	介護予防運動教室の指導者を養成します。	高齢者福祉課	以下の日程で、はつらつリーダー養成講座を実施中です。 清久コミュニティセンター、各金曜日、13時半～15時半 初期研修日程:第1回9月12日、第2回9月19日、第3回10月10日、第4回10月24日、第5回11月7日、第6回11月21日、第7回11月28日 中級合同研修日程:12月12日、1月9日、2月13日 中級実地研修:11月～2月で実施。	申込人数が少ないことや申込者の不参加、途中で辞めてしまう方がいることが課題です。 参加者人数を増やすため、参加者用のチラシを作成し、はつらつ運動教室経験者からリーダーを養成していきます。	
	88	各種ボランティア養成講座や講習会	昭和56年度(推定)	地域ボランティアの養成、ボランティア団体の活動助成、地域福祉の振興に努めます。	久喜市社会福祉協議会	共生支援事業「富士見乳児院が取り組む地域づくり」を5月10(土曜日)に実施し50名の参加がありました。また、ガイドヘルプボランティア講座を6月13日(金曜日)、20日(金曜日)に実施し、9名受講、点訳ボランティア養成講座を5月28日(水曜日)～8月27日(水曜日)に全12回で実施し、5名修了、音訳ボランティア養成講座を5月28日(水曜日)～11月5日(水曜日)に全10回で実施し、4名修了しました。	受講者が参加しやすい内容や会場を検討していきます。	再掲先連番No.115

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	89	スポーツ・レクリエーション指導者の養成	平成22年度	スポーツ・レクリエーション活動への参加機会を充実させるために指導者を養成します。	スポーツ振興課	国や県等が開催する講習会等へスポーツ推進委員を派遣しました。 関東スポーツ推進委員研究大会実施（令和7年6月27日(金曜日) 山梨県） 全国スポーツ推進委員研究協議会実施（令和7年11月13日(木曜日)、14日(金曜日) 長野県） 他	スポーツ推進委員のスポーツに関する知識等の向上を図るため、引き続き研修会等に派遣していく必要があります。	
	90	市民大学(まなびすとカレッジ)・大学院※再掲	平成7年度	市民の生涯学習やボランティア活動への理解を深め、地域コミュニティづくりやまちづくりの担い手及び指導者・リーダーとなる人材の育成を図ります。	生涯学習課	令和7年度は4月12日(土曜日)に入学式・始業式を実施しました。令和8年3月31日現在、学生数は1年生13名、2年生9名、大学院生2名となります。 1年生31講座、2年生21講座および特別活動は、中止となってしまった2月1日の「まなびすと久喜」・準備以外は予定通りの進捗状況です。 また、令和7年度卒業式および修了式を2月28日(土曜日)に実施し、卒業者・修了者数は次のとおりです。 ・1学年:13人 ・2学年:9人 ・大学院生:2人	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。	再掲元 連番No.24
	91	人材の発掘と登録	平成21年度(推定)	多様な学習活動を支援できる貴重な体験や優れた技能、豊かな知識の持ち主を発掘します。	生涯学習課	令和7年度は、当事業の周知のため、登録されている方の中から講師を選定し、年4回の公開講座を企画、実施しました。公開講座において、講師の登録や活用を呼び掛け、令和8年3月31日現在10名の講師登録がありました。	より多くの方に公開講座に参加していただけるよう公開講座の内容や費用について、講師と検討していきます。	
	92	生涯学習ボランティアの育成と活用	昭和54年度(推定)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、コミュニティセンターのまつりや、市民芸術祭といった事業に運営ボランティアとして参加しました。 久喜市市民大学では、コスモスフェスタなどの事業に運営ボランティアとして参加しました。 生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会に活かしていけるよう、ボランティアを育成します。	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会に活かせるよう、ボランティア活動の情報を提供し、活動の場へつなげていく必要があります。	再掲先 連番No.118

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 1 人材の育成・活用							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
人材の活用促進	93	男女共同参画人材リストの活用	平成17年度(推定)	男女共同参画人材リストを市民に周知し、登録を呼びかけるとともに、市の事業等における積極的な活用を図ります。	人権推進課	・男女共同参画人材リストの活用に全庁的に取り組みました。 1市審議会等への女性委員登用促進資料 2市主催講演会、講座等の講師資料 3団体、個人への技能などの提供資料 ・公共施設に人材リストを設置して市民への周知と活用促進を図りました。 ・市ホームページやSNSで、人材リストの活用促進・登録を呼びかけました。 ・生涯学習課が所管する「生涯学習人材バンク」との相互利用を図り、市ホームページに相互にリンクを掲載しました。 ・活用状況につきましては、調査中です。 ・市ホームページ及び広報くき12月号にて登録の呼びかけを行いました。	現状、活用されている登録者に偏りがあるため、他の登録者も活用されるように周知して行く必要があります。 今後も人材リストについて、職員向けにポータルサイトや市民向けにSNSを活用することで、広く周知し、活用実績と登録者数を増やしていきます。	
	94	部活動における地域人材等の活用	令和5年度	部活動の地域移行に向けて、地域人材をいかした中学校の部活動を支援していきます。また、地域移行の受け皿となるスポーツクラブ等の支援を行います。	スポーツ振興課指導課	【スポーツ振興課】 プロスポーツチーム埼玉ワイルドベアーズ及びスポーツ少年団ミニバス部会において、U15クラブチームを立ち上げ、活動を開始しました。 【指導課】 部活動指導員として運動部に16名、文化部に4名任用しました。部活動指導員を、休日の地域クラブ指導者に繋げています。また、地域クラブの指導者として49名を委嘱するとともに2団体へ委託を行い、休日の部活動の地域展開を推進しました。	【スポーツ振興課】 引き続き指導課と連携しながら、取り組みます。 【指導課】 令和8年度から、原則、休日における部活動は地域クラブに展開していきます。令和9年度までに休日における部活動をすべて地域クラブに展開することを目標としています。	
	95	生涯学習人材バンク	平成21年度(推定)	生涯学習人材バンクを整備・充実し、多彩な生涯学習機会を提供します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、延べ166人が講師として登録しており、生涯学習人材バンクの講師依頼について、1件相談がありました。	市民向けの公開講座をとおして、人材バンクの周知を図り、更なる活用を促進する必要があります。	
	96	生涯学習人材バンク活用事業	令和5年度	生涯学習人材バンクに登録されている方を講師として依頼し、市民向けの講座を生生涯学習施設「まなびすポット」で開催します。	生涯学習課	令和7年度は、年4回の公開講座を企画、実施しました。 ・第1回:10月18日(土曜日)、19日(日曜日)「はじめての水彩画」 参加者数12人 ・第2回:11月9日(日曜日)「『歎異抄』を読む」 参加者数13人 ・第3回:令和8年3月7日(土曜日)「はじめての絵手紙」 参加者数10人 ・第4回:令和8年3月14日(土曜日)「はじめてのトール・デコラティブペイント」 参加者数10人	より多くの方に公開講座に参加していただけるよう公開講座の内容や費用について、講師と検討していきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上						
具体的施策	課 業	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
学習成果の発表と共有	97	市民まつり	昭和63年度	市民まつりでの学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	市民まつりの会の解散に伴い、令和6年度以降、市民まつりは開催されていません。	特になし	
	98	菖蒲産業祭	昭和60年度	「菖蒲産業祭」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	令和7年度は11月3日(月・祝)に開催されました。会場は、菖蒲行政センター前駐車場でした。当日は、約20,000人が来場されました。	来場者駐車場の確保に課題があります。	
	99	わしのみやコスモスフェスタ	平成14年度(推定)	「コスモスフェスタ」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を提供します。	商工観光課	令和7年度は10月26日(日曜日)に開催されました。会場は、鷺宮行政センター前駐車場、コスモス畑周辺でした。当日は、約2,500人が来場されました。	実行委員会の担い手不足が懸念されます。	
	101	赤花そば栗橋やさしさときめき祭り	令和2年度	「赤花そば栗橋やさしさときめき祭り」での学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	栗橋行政センター地域振興係	名称を「栗橋やさしさときめき祭り」に変更し、令和7年11月16日(日曜日)に開催され、約6,000人が参加しました。	令和8年度開催へ向けて、経費的な工夫を行い、準備を進めます。	
	102	コミュニティセンターまつり※再掲	平成22年度(推定)	コミュニティセンターまつりによる作品展示と演技発表を実施することで、学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場を設定します。	生涯学習課	令和7年度は、7地区で実施しました。 ・清久地区:9月27日(土曜日)～9月28日(日曜日) 会場:清久コミュニティセンター 720人参加 ・久喜中央地区:12月20日(土曜日)～12月21日(日曜日) 会場:久喜中央コミュニティセンター 404人参加 ・江面地区:1月24日(土曜日)～1月25日(日曜日) 会場:江面小学校 250人参加 ・菖蒲地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:森下コミュニティセンター 500人参加 ・栗橋地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:栗橋中央コミュニティセンター 400人参加 ・久喜東地区:2月21日(土曜日)～2月22日(日曜日) 会場:久喜東コミュニティセンター 950人参加 ・青葉地区:2月28日(土曜日)～3月1日(日曜日) 会場:青葉コミュニティセンター 400人参加 なお、鷺宮地区は、2月7日(土曜日)、2月8日(日曜日)に鷺宮中央コミュニティセンターで実施予定でしたが、会場が衆議院議員総選挙の投票所となったため中止となりました。	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。	再掲元 連番No.55 関係項目 連番 No.127,207
	103	生涯学習研修大会(まなびすとフォーラム)	平成9年度(推定)	まちづくりをテーマに、市民の意見交換の場として開催します。	生涯学習課	久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」は、6月7日(土曜日)に生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。「寄り添う、地域・学校・家庭」というテーマで、86名の方に参加いただきました。8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。	一般参加者が増加するよう、広報紙や市ホームページのほか、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用して情報を発信して行く必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上						
具体的施策	選 取	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	104	生涯学習推進大会(まなびすと久喜)	昭和63年度	生涯学習をしている方の学習活動の成果発表と生涯学習活動への誘いの場として開催します。	生涯学習課	令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を提供する予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。 ○発表会・イベント出展参加を予定していた団体 ・発表会 17団体 ・イベント出展 22団体	令和8年度は2年ぶりの開催となることから、多くの方に来場していただける工夫して情報を発信して行く必要があります。	
	105	市民文化祭事業、文化振興事業の実施	平成20年度(推定)	文化活動への参加・鑑賞・発表の機会を設定します。	文化振興課	久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民に対して、発表及び鑑賞の機会を提供しました。また、市内各文化団体連合会等との共催で、文化祭事業を実施しました。加えて、新たに文化活動に興味を持ってもらうことを目的に、文化セミナー(囲碁、筆ペン)を実施しました。(来場者数)美術展1,272人、市民芸術祭444人、吹奏楽フェスティバル1,546人、文化セミナー40人(3回合計)	インターネットやSNSなどに文化活動を容易に発信、閲覧できることや高齢化により、文化活動に参加する市民が減少傾向にあります。このため、幅広い世代の市民が各事業に参加しやすくなるよう、実施方法や周知方法を見直す必要があります。	
	106	よろこびのまち久喜マラソン大会※再掲	平成27年度	市のスポーツ振興と市の認知度の向上のため、だれもが気軽に参加できる大会を開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和8年3月22日(日曜日) 会場: 総合運動公園スタート・ゴール 種目: ハーフ、ハーフペアリレー、3km、1.5km 参加者数: 3,220人	次回大会も多くの種目で定員に達するよう、大会の魅力を積極的に発信していきます。	再掲元 連番No.79
	107	くき健康ウォーク※再掲	平成27年度	市民の健康と体力の増進を図るとともに、コミュニティ意識を高め、心身ともに健康で心豊かなまちづくりを目指すために開催します。	スポーツ振興課	期日: 令和7年10月26日(日曜日) 会場: 久喜市コミュニティ広場(鷺宮地区) 内容: 地図をもとに、チェックポイントの写真を撮り、制限時間内にゴールを目指すウォーキングイベントを開催。当日雨天のため、イベントは中止となりました。 申込者数: 94名	より多くの方に参加いただけるように、情報発信を積極的に取り組みます。	再掲元 連番No.80
	108	スポーツ体験イベント※再掲	令和4年度	市民がスポーツに親しむきっかけを創出し、スポーツの活性化を図るため、スポーツ体験イベントを実施します。	スポーツ振興課	期日: 令和7年11月9日(日曜日) 会場: 毎日興業アリーナ久喜メインアリーナ 内容: 健幸・スポーツフェスタinKUKIとしてスポーツブースや健康ブースを設置し、来場者に運動の楽しさを知るきっかけを提供しました。 来場者数: 延べ3,669名	今後は、商業施設と連携しながら、年に複数回の開催を目指します。	再掲元 連番No.81

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 2 発表機会の充実や学習意欲の向上						
具体的施策	選 取	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
学習意欲の向上	109	ふれあいスポレク・フェスタ※ 再掲	平成22年度	障がい者の方々のスポーツ・レクリエーション活動の普及を図り、参加者の交流を深めるために、ポッチャ等のイベントを実施します。	スポーツ振興課	日時:令和7年12月15日(月曜日) 会場:久喜特別支援学校 概要:若い世代にもスポーツの楽しさを伝えるために、訪問型スポーツ体験会を開催しました。 参加者数:39名	障がいのある方にスポーツを体験してもらう機会を増やすために、引き続き、訪問型体験会を開催していきます。	再掲元 連番No.47 関連項目 連番No.83
	110	吹奏楽フェスティバル	平成2年度	市内中学校や高等学校、市民吹奏楽団に出場する機会を提供します。	文化振興課	埼玉県芸術文化祭地域文化事業参加事業として「『音楽の街・久喜市』吹奏楽フェスティバル」を11月9日(日曜日)に開催しました。 (出演団体16団体)①久喜中学校②久喜南中学校③久喜東中学校④太東中学校⑤菖蒲中学校⑥栗橋ジュニアマーチングバンドScarlet⑦鷺宮中学校⑧鷺宮東中学校⑨鷺宮西中学校⑩久喜高等学校⑪久喜北陽高等学校⑫鷺宮高等学校⑬久喜市民吹奏楽団⑭しょうぶ・しみん吹奏楽団⑮鷺宮ウインドアンサンブル⑯花咲徳栄高等学校 (会場)久喜総合文化会館大ホール (来場者数)1,546人	来場者へのアンケートにおいて、本事業の素晴らしさをもっと多くの市民に周知してほしいとの回答もありました。多くの市民が音楽文化に触れる機会を広げられるよう、周知を図る必要があります。	
	111	街かどコンサートの充実	平成27年度	音楽愛好家や音楽家の発表の機会をつくり、だれもが気軽に音楽を楽しめるコンサートを開催します。	文化振興課	街かどコンサートを企画し、12回開催しました。 ①令和7年4月12日(土曜日)開催 60人来場 会場:久喜総合文化会館ふれあい広場(天体観望会) ②令和7年6月15日(日曜日)開催 100人来場 会場:ブルーフェスティバル会場 ③令和7年7月25日(金曜日)開催 30人来場 会場:久喜駅東口駅前広場(ストリートライブ) ④令和7年8月2日(土曜日)開催 50人来場 会場:久喜総合文化会館ふれあい広場(天体観望会) ⑤令和7年8月22日(金曜日)開催 35人来場 会場:久喜駅東口駅前広場(ストリートライブ) ⑥令和7年9月26日(金曜日)開催 30人来場 会場:久喜駅東口駅前広場(ストリートライブ) ⑦令和7年10月10日(金曜日)開催 50人来場 会場:久喜総合文化会館サイエンスホール玄関付近 ⑧令和7年10月23日(木曜日)開催 170人来場 会場:桜田コミュニティセンター ⑨令和7年11月30日(日曜日)開催 150人来場 会場:権現堂公園 ⑩令和7年12月7日(日曜日)開催 800人来場 会場:モラージュ菖蒲滝のコート ⑪令和8年3月8日(日曜日)開催 120人来場 会場:桜田コミュニティセンター ⑫令和8年3月22日(日曜日)開催 404人来場 会場:久喜マラソン大会コース沿道	若い世代や中高年世代など、幅広い世代が音楽文化に触れ、関心を持てる機会を充実させる必要があります。そのため、SNSを使用した情報を発信するなど、周知方法を見直していきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標	2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～							
施策	2 発表機会の充実や学習意欲の向上							
具体的施策	連 環	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	112	各地区市民体育祭※再掲	平成26年度	市民スポーツ・レクリエーション活動を推進し、市民の交流の場として各地区で開催します。	生涯学習課	令和7年度は、5地区で実施しました。 ・江面地区:9月28日(日曜日) 会場:江面小学校 580人参加 ・久喜東地区:10月5日(日曜日) 会場:久喜東小学校 680人参加 ・清久地区:10月11日(土曜日) 会場:清久小学校 550人参加 ・鷺宮地区:10月12日(日曜日) 会場:鷺宮運動広場 1,500人参加 ・久喜中央地区:11月3日(月曜日・祝日) 会場:久喜小学校 650人参加 なお、10月26日(日曜日)に実施する予定であった青葉地区、菖蒲地区については、雨天によるグラウンドコンディション不良のため中止となりました。 また、栗橋地区については、体育祭再編に向けた準備期間とするため、休止となりました。	参加者数の減少や競技役員の高齢化などの課題を踏まえ、各地区の実情にあわせた体育祭を実施します。	再掲元 連番No.84

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
ボランティア・コーディネーターの養成	113	久喜市赤十字奉仕団員	平成26年度(推定)	災害が起きたときに助けあえる地域づくりに向けて、炊き出し訓練や募金活動等を行います。	社会福祉課	令和7年9月6日に鷺宮地区防災訓練に参加しました。10月と1月に募金活動を行い、それぞれ17,688円、29,940円を集めることができました。1月には久喜、加須、杉戸の赤十字奉仕団とポッチャ大会を行い地域との交流を図りました。また、2月には杉戸町赤十字奉仕団とともに救急救命講習会に参加しました。	奉仕団員の会員数を増やすために、魅力的なイベントの実施を試み、活動内容の周知に努めます。	
	114	手話奉仕員養成講座	昭和56年度(推定)	手話の知識や技術を習得し、聴覚障がい者を支援するボランティアを養成します。	障がい者福祉課 久喜市社会福祉協議会	【障がい者福祉課】 令和7年度久喜市手話奉仕員養成研修事業として、久喜市社会福祉協議会へ委託しました。 【久喜市社会福祉協議会】 入門編を6月13日(金曜日)～12月5日(金曜日)まで全23回でふれあいセンター久喜にて実施し、16名が修了しました。基礎編は5月20日(火曜日)～11月18日(火曜日)まで全25回で菖蒲コミュニティセンターにて実施し、6名が修了しました。	【久喜市社会福祉協議会】 講座が長期間に渡るため、会場確保や機材準備が課題です。また、定員を超えた時のフォローや対応が必要です。	
	115	各種ボランティア養成講座や講習会※再掲	昭和56年度(推定)	地域ボランティアの養成、ボランティア団体の活動助成、地域福祉の振興に努めます。	久喜市社会福祉協議会	共生支援事業「富士見乳児院が取組む地域づくり」を5月10(土曜日)に実施し50名の参加がありました。また、ガイドヘルプボランティア講座を6月13日(金曜日)、20日(金曜日)に実施し、9名受講、点訳ボランティア養成講座を5月28日(水曜日)～8月27日(水曜日)に全12回で実施し、5名修了、音訳ボランティア養成講座を5月28日(水曜日)～11月5日(水曜日)に全10回で実施し、4名修了しました。	受講者が参加しやすい内容や会場を検討していきます。	再掲元 連番No.88
	116	学校応援団コーディネーター研修会	平成22年度	学校応援団の方を対象に研修会を開催し、コーディネーターを養成します。	指導課	今年度は、地域学校協働活動推進員の中に学校応援団コーディネーターの方がいることから、久喜市教育委員会主催の研修会を5月27日(火曜日)に地域学校協働推進員の研修と合わせて実施しました。コーディネーターの仕事や役割について理解を深めたり、より効果的なコーディネートの方法について考えたりしました。	地域の方の高齢化に伴い、地域と学校をつなぐコーディネーターの新規担い手不足が課題です。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかに活かせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	117	ボランティア情報の充実	平成21年度	ボランティア活動に関する活動相談、情報交換、情報提供等、活動の活発化を目指し、ボランティア情報を充実します。	生涯学習課 久喜市社会福祉協議会	【生涯学習課】 令和7年度の放課後子ども教室実施委員を含むサポーター数は2,196名でした。 【久喜市社会福祉協議会】 ホームページ、YouTubeくき社協ちゃんねる、情報配信サービス、LINEにおいて、ボランティア情報や助成金情報を紹介しています。	【生涯学習課】 今後、更に幅広い事業で、ボランティア活動への情報の提供を実施していく必要があります。また、小中学校のボランティア手帳の活用・連携が必要です。 【社会福祉協議会】ホームページの閲覧やLINEの友だち登録が増えるような情報発信を検討していきます。	
	118	生涯学習ボランティアの育成と活用※再掲	昭和54年度(推定)	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会にいかす生涯学習支援ボランティアを育成し活用します。	生涯学習課	久喜市高齢者大学では、コミュニティセンターのまつりや、市民芸術祭といった事業に運営ボランティアとして参加しました。 久喜市市民大学では、コスモスフェスタなどの事業に運営ボランティアとして参加しました。 生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会に活かしていけるよう、ボランティアを育成します。	生涯学習で学んだ成果を、ボランティア活動をととして幅広く社会に活かせるよう、ボランティア活動の情報を提供し、活動の場へつなげていく必要があります。	再掲元 連番No.92
	119	郷土資料館ボランティアの養成	平成21年度	調査、資料整理等の活動に協力するボランティアを養成します。	郷土資料館	令和7年度のボランティア登録人数は27人でした。 令和7年度の郷土資料館ボランティアの育成に関する活動を以下のとおり実施しました。 ①子ども向けの講座と展示案内 主な活動内容は、子ども向け講座の「子ども歴史広場」・「郷土資料館まつり」の準備・運営事業と小学校の社会科見学の際の展示案内です。子ども向け講座の準備・運営に係る活動を23回実施し、展示案内は8回実施しました。 ②古文書整理補助 主な活動内容は、資料館で収蔵している古文書の整理で、文書整理指導員の指導のもと行います。文書整理補助は31回実施しました。	ボランティアの講座運営や展示案内、古文書整理の能力向上のため、ボランティアの意見を取り入れながら、学芸員や文書整理指導者によるボランティアの養成を図っていく必要があります。また、ボランティアの高齢化が課題となっており、継続的なボランティア活動のためには、新規のボランティア募集を継続して行っていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～		3 ボランティア活動の充実				
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	120	イベントボランティアの充実	平成27年度(スポーツ振興課) 昭和63年度(生涯学習課)	コスモスふれあいロードの種まきや市民まつり、生涯学習推進大会をはじめとした各種イベントにおいて、広く市民からボランティアを募集します。	商工観光課 スポーツ振興課 生涯学習課	【商工観光課】 令和7年7月26日(土曜日)実施のコスモスふれあいロードの種まきでは135人がボランティアとして活動しました。なお、台風で中止になりましたが、令和7年8月2日(土曜日)実施予定だったコスモスふれあいロードの種まきでは、506人のボランティアとしての応募がありました。 令和7年10月19日(日曜日)に実施のくきストリートフェスティバルでは、16人がボランティアとして活動しました。 【スポーツ振興課】 久喜マラソン大会 期日: 令和8年3月22日(日曜日) 会場: 総合運動公園スタート・ゴール 内容: 円滑に大会運営が図られるようスポーツ団体等から運営ボランティアを募集しました。 ボランティア申込人数: 732名 【生涯学習課】 令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、久喜市高齢者大学や市内中高生など、広く市民からボランティアを募集し、大会運営をする予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。	【商工観光課】 今後、さらなる充実を図るため、より多くの周知方法を検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 円滑に大会運営が図られるよう、様々な方法で公募ボランティアを募っていく必要があります。 【生涯学習課】 参加者の固定化がみられるため、中学生・高校生の盛大の参加をより促すことや、ボランティア活動への参加者の周知が必要です。	
	121	夏のボランティア体験の充実	昭和59年度(推定)	夏休み中に気軽に参加できるボランティア体験を実施します。	久喜市社会福祉協議会	7月から8月の夏休み期間に44メニュー231人の参加がありました。手話体験、エコキャップボランティア体験、子ども食堂活動体験、STT体験、点字体験、傾聴ボランティア講座、施設ボランティア、ユーチューバー体験等を実施しました。	学生に限らず、全世代の参加につながる企画を検討していきます。	
	122	清掃美化活動	平成23年度	住民との協働による道路環境づくりを推進します。	建設管理課	「道路愛護」として、行政区単位で清掃美化活動を実施しています。4月の区長会議で協力依頼後、182の行政区から、道路清掃及び除草等について実施報告書が提出されました。 「道路里親事業」では、39団体(令和7年度、5団体を新規認定)を道路里親として認定しており、歩道及び植樹帯の清掃作業等を実施しています。また、団体に対し、活動ヒアリングやSNSを活用した活動発信、ホームページにて団体の紹介を行いました。	安全で通行しやすい道路環境を維持管理していくには、住民との協働による清掃美化活動が不可欠です。道路愛護事業の参加率や道路里親団体の新規認定等、道路愛護意識のさらなる向上につながる啓発方法や、より活動しやすい支援体制について検討が必要と考えます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
ボランティア活動の場の充実	123	学校応援団	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等の学校の支援をします。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、保護者や地域住民を含む多くのボランティアが参加し、学習・環境・安全安心、部活動支援等の学校の支援をしました。特に、花壇や畑の手入れ、除草作業、地域の見守りなど、教職員の業務負担軽減につながっています。久喜市地域学校協働活推進員設置に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に、学校の支援をしました。	PTA活動の減少に伴い、除草作業や環境整備など学校応援団の負担が増加している。地域の人や保護者も参加しやすい形態や実施方法を検討していく必要があります。	再掲先 連番No.131,155,195
	124	小・中学生ボランティア手帳の活用推進	令和元年度	市内小・中学生にボランティア手帳を配布し、ボランティア意識の向上を図るとともに、ボランティア活動に関する情報を提供します。	生涯学習課	令和8年3月末現在、ボランティア手帳達成者(20回ボランティア)は、66名です。要望のあった地域の区長にボランティア手帳の見本を配布し、活用のご協力をお願いしています。また、地域の社会教育団体にも積極的な生徒のボランティア活動を依頼してほしい旨を伝えています。	小学校・中学校へのボランティア情報の活用に関して、地域への周知とともに、児童生徒の地域ボランティアへの参画が一層必要です。	
	125	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 ・参加児童数:2,842人 ・開設講座数:338講座(全21ゆうゆうプラザでの総計) ・実施委員人数: 387人 サポーター数 1,809人 ・児童参加率:42.9%	子どもたちの興味・関心を高めるために体験型講座を含めた新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のさらなるDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。	再掲元 連番No.18 関連項目 連番No.158,198
	126	ライフステージに応じたボランティア活動の充実	平成16年度(推定)	人生各期の特性に応じたボランティア活動への情報の提供に努めます。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて、指導者サポーター、活動サポーター、下校サポーターといったボランティア活動の情報提供をするため、チラシを作成し生涯学習課窓口に配架しました。また、市内小・中学校へはチラシを配信しました。	今後、更に幅広い事業で、ボランティア活動への情報の提供を実施していく必要があります。さらに、ボランティア参加者へ自分たちの活動の成果を実感させることが必要です。	再掲先 連番No.55 関連項目 連番No.102,207

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		2 いかす～学んだことがいかせる機会の充実～ 3 ボランティア活動の充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	127	コミュニティセンターまつり※再掲	平成22年度(推定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により、各コミュニティセンター利用団体の展示や演技発表等を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、7地区で実施しました。 ・清久地区:9月27日(土曜日)～9月28日(日曜日) 会場:清久コミュニティセンター 720人参加 ・久喜中央地区:12月20日(土曜日)～12月21日(日曜日) 会場:久喜中央コミュニティセンター 404人参加 ・江面地区:1月24日(土曜日)～1月25日(日曜日) 会場:江面小学校 250人参加 ・菖蒲地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:森下コミュニティセンター 500人参加 ・栗橋地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:栗橋中央コミュニティセンター 400人参加 ・久喜東地区:2月21日(土曜日)～2月22日(日曜日) 会場:久喜東コミュニティセンター 950人参加 ・青葉地区:2月28日(土曜日)～3月1日(日曜日) 会場:青葉コミュニティセンター 400人参加 なお、鷺宮地区は、2月7日(土曜日)、2月8日(日曜日)に鷺宮中央コミュニティセンターで実施予定でしたが、会場が衆議院議員総選挙の投票所となったため中止となりました。	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
人材の活躍の場づくり	128	市民活動団体の紹介	平成21年度	地域交流や仲間づくりのために継続的に活動している市民活動団体を紹介します。	市民生活課	市民活動情報コーナー及び市ホームページで、市民活動を行う団体の情報提供を実施しました。 市ホームページにおいて、市民活動団体の活動内容等を紹介し(3/31現在:255団体)、市広報紙への掲載依頼や市内18施設に設置された市民活動情報コーナーへのチラシの配架等でイベント等の活動情報の広報支援を行っています。	市民活動団体の情報提供は任意の登録制であるため、市内すべての市民活動団体の情報を網羅していません。未登録の団体及び新規に立ち上げたばかりの団体にも本制度の利用を促していく必要があります。	
	129	市民参加の推進	平成24年度	市民参加の情報及び機会の提供、啓発を行い、市民が市政に対して意見、または提案することができる市民の参加を推進します。	市民生活課	令和7年度は、広報くき、市ホームページ、市民参加コーナー、市SNS、市民参加推進員(まちづくりサポーター)への情報提供の方法により、市民参加の情報及び機会の提供、啓発を実施しました。市民が市政に対して、意見することができる制度の1つである市民意見提出制度(パブリック・コメント)につきましては7件実施しました。 また、令和6年度に引き続き、12月に若い世代と市長との座談会を実施し、市長と市内在住・在勤の10名がまちづくりについて話し合いました。	若い世代の市民参加が少なく、幅広い世代の市民参加に繋がっていないため、今後も市民参加の情報及び機会の提供、啓発方法について検討する必要があります。また、若い世代と市長との座談会のように、若年層の市民参加を促進する事業を継続して実施する必要があります。	
	130	活動機会提供の充実	昭和63年度(生涯学習課) 平成27年度(スポーツ振興課)	市民まつり、生涯学習推進大会、市民体育祭、久喜マラソン大会等の各種イベント及び子どもたちの様々な体験活動におけるボランティア活動や地域活動に学習の成果を幅広くいかせる活動機会の提供を充実します。	商工観光課 スポーツ振興課 生涯学習課	【商工観光課】 令和7年10月19日(日曜日)実施のくきストリートフェスティバルでは、16人がボランティアとして活動しました。 また、ステージイベント・出展においては、市内の学校等5校が参加しました。 【スポーツ振興課】 久喜マラソン大会 期日:令和8年3月22日(日曜日) 会場:総合運動公園スタート・ゴール 内容:円滑に大会運営が図られるようスポーツ団体等から運営ボランティアを募集しました。 ボランティア申込人数:732名 【生涯学習課】 令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を提供する予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。 ○発表会・イベント出展参加を予定していた団体 ・発表会 17団体 ・イベント出展 22団体	【商工観光課】 今後、さらなる充実を図るため、より多くの周知方法を検討する必要があります。 【スポーツ振興課】 円滑に大会運営が図られるよう、様々な方法で公募ボランティアを募っていく必要があります。 【生涯学習課】 令和8年度は「まなびすと久喜」は、2年ぶりの開催となることから、多くの方に来場していただける工夫して情報を発信して行く必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	131	学校応援団※再掲	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等を行います。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、保護者や地域住民を含む多くのボランティアが参加し、学習・環境・安全安心、部活動支援等の学校の支援をしました。特に、花壇や畑の手入れ、除草作業、地域の見守りなど、教職員の業務負担軽減につながっています。久喜市地域学校協働活推進員設置に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に、学校の支援をしました。	PTA活動の減少に伴い、除草作業や環境整備など学校応援団の負担が増加している。地域の人や保護者も参加しやすい形態や実施方法を検討していく必要があります。	再掲元 連番No123 関連項目 連番 No.155,195
	132	公民館事業運営委員の任用	令和2年度	主体的な学習活動を支援するため、公民館事業運営委員による公民館事業の企画運営を行います。	生涯学習課	令和7年度末時点で、8地区定員80人(1地区10人)のところ74人任用しています。 ・久喜中央地区:9人 ・江面地区:8人 ・久喜東地区:10人 ・青葉地区:10人 ・清久地区:8人 ・菖蒲地区:9人 ・栗橋地区:10人 ・鷺宮地区:10人	4地区で定員割れを起こしておりますが、随時募集をかけて充足するように努めます。	
	133	生涯学習推進会議の充実	昭和63年度(推定)	生涯学習事業の推進に関する基本的指針の策定、生涯学習の普及・奨励を推進する生涯学習推進会議を充実します。	生涯学習課	令和7年度は第1回会議を10月21日(木曜日)に実施しました。第2回会議を3月26日(木曜日)に実施しました。 生涯学習事業(まなびすとフォーラム、まなびすと久喜等)の計画・報告や、第2次久喜市生涯学習推進計画(まなびすとプラン2)の点検・見直しを図りました。	限られた会議回数で、円滑に情報の共有化を図る必要があります。	
	134	生涯学習推進部の拡充	平成3年度	市民の手による生涯学習のまちづくりを総合的に推進する生涯学習推進部を拡充します。	生涯学習課	令和8年1月31日現在、14名の委員で構成されています。 今年度の生涯学習推進部視察研修は以下のとおり実施しました。 ・実施日:令和7年11月14日(金曜日) ・視察先:安中市 学習の森・ふるさと学習館 他	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」や久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラム、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を通じて、生涯学習推進部の活動を広く周知し、委員数の増加につなげていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 1 人材ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
企業による学習支援の推進	135	社会体験チャレンジ	平成23年度	キャリア教育の一環として、中学生が職場体験を行い、働くことの意義について学びます。	指導課	全ての中学校において、第2学年の生徒が職場体験学習を実施しました。体験を通じ、生徒に働くことの意義や社会性を学ぶ機会を提供することができました。	受け入れ可能な事業所の開拓および継続的な確保が課題となっている。受け入れ可能な営業所については各学校で情報共有できるようにしていきます。	
	136	生涯学習イベント交流の推進	昭和63年度	生涯学習推進大会等の生涯学習イベントにおいて、企業・事業所等の参加を促進し、地域社会を構成する一員として学習交流を深めます。	生涯学習課	令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を提供する予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。 ○発表会・イベント出展参加を予定していた団体 ・発表会 17団体 ・イベント出展 22団体	2年ぶりの開催となることから、多くの方に来場していただける工夫して情報を発信して行く必要があります。	
	137	企業による出前講座	平成24年度(推定)	企業に蓄積された知識や技能を、市民のキャリアアップ等の学習活動にいかせるような、企業による出前講座を実施します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、企業による生涯学習出前講座は15種類あります。団体から2件講座を実施しました。また、2月21日(土曜日)に実施の公開出前講座で埼玉司法書士会の講座を活用しました。	出前講座の周知を図り、更なる活用を推進する必要があります。	
	138	事業所見学	平成7年度(推定)	市民大学において市内の事業所を見学し、地域社会との連携について学習します。	生涯学習課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 ・9月26日(金曜日)市民大学1年生講座「下水道処理に学ぼう」公益財団法人埼玉県下水道公社古利根支社 ・11月21日(金曜日)市民大学1年生講座「ごみ問題を考えよう」久喜宮代清掃センター ・11月27日(木曜日)市民大学1年生「企画講座」新ごみ処理施設の現場見学	更なる学習の充実に向けて、学生の意見を取り入れ、講座の再編を検討していく必要があります。	
	139	大人の社会科見学	平成22年度(推定)	公民館事業において、事業所見学を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、3地区で実施しました。 ・栗橋地区:11月26日(水曜日) 場所:東武鉄道(株)南栗橋車両管区 参加者20人 ・清久地区:1月21日(水曜日) 場所:東武鉄道(株)南栗橋車両管区 参加者17人 ・久喜中央地区:2月26日(木曜日) 場所:キューピー(株)五霞工場、首都圏外郭放水路 参加者26人	定員を超える人気の事業であり、引き続き、公民館事業運営委員と協議しながら実施します。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
学校施設の開放と活用	140	学校体育施設の開放の推進	平成22年度	小・中学校の体育館、校庭を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放します。	スポーツ振興課	小中学校31校の体育施設を地域のスポーツ団体等に開放しました。 登録団体数:192団体 主な修繕等 ・本町小学校吊下げ式バスケットゴール改修工事 R8.3月完了 ・太田小、菖蒲小、菖蒲東小の吊下げ式バスケットゴールの修繕 R8.1月完了	令和6年度に実施した吊下式バスケットゴールの点検において、結果が不良となった箇所の修繕は完了しましたが、今後老朽化等により不具合が生じた場合には修繕を実施する必要があります。	
	141	総合型地域スポーツクラブの創設支援	平成22年度	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間: 令和7年4月から令和8年3月まで 内容: 市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知しました。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	引き続き取り組みます。	再掲先 連番No.189
	142	特別教室等の開放の推進	平成15年度	特別教室等で子どもたちが地域住民と新たな学習活動や居場所として交流、連携の場となるように施設開放を検討し、関係機関と調整します。	生涯学習課	市民の文化活動及び生涯学習活動の充実を図るため、上内小学校の「ふれあいの部屋」を開放していましたが、令和7年4月30日(水曜日)に上内小学校が廃校となったことから、現在は開放している教室はありません。 なお、令和7年度中の利用もありませんでした。	令和7年4月30日の上内小学校廃校に伴い「ふれあいの部屋」も廃止しました。今後、開放可能な教室等について、調査・研究を進めていきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	143	情報インフラの整備	令和4年度	各施設において、フリーWi-Fiの利用ができるよう情報インフラの整備に努めます。	情報推進課	引き続き、コミュニティセンター等の公共施設23施設に設置された公衆無線LANの運用を行いました。	引き続き、コミュニティセンター等の公共施設23施設に設置された公衆無線LANの運用を行う予定です。	
	144	公文書館の充実	平成5年度	公文書館所蔵資料の充実を図ります。	公文書館	公文書のライフサイクルに基づき所定の保存年限を経過した公文書を、公文書館職員が1点1点確認しながら評価選別を行い、歴史公文書として保存しました。所蔵件数は、4,018件増加しました。これらの所蔵資料は、閲覧等により市民の利用に供しています。	引き続き評価選別を行い、歴史公文書を適切に保存していきます。	
	145	芸術文化作品の映画鑑賞等 各種のイベント	平成元年度(市民生活課)平成20年度(推定)(文化振興課)	地域文化の振興を図り、市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらすため、各種の自主文化事業を開催します。	市民生活課 各文化会館 文化振興課	【市民生活課】 指定管理者により、音楽コンサートや映画鑑賞会など、3館合計で41の自主事業が実施完了しました。自主事業の実施により、文化芸術活動の機運を高めるとともに、地域全体の文化振興に寄与することができました。 【文化振興課】 久喜市美術展や市民芸術祭、吹奏楽フェスティバルなど、各種の文化事業を実施し、市民に対して、発表及び鑑賞の機会を提供しました。また、市内各文化団体連合会等との共催で、文化祭事業を実施しました。(来場者数)美術展1,272人、市民芸術祭444人、吹奏楽フェスティバル1,546人	【市民生活課】 各館の施設や規模を活かしながら、市民ニーズの高い自主事業を実施していきます。 【文化振興課】 高齢化により、文化活動に参加する市民が減少傾向にあります。このため、幅広い世代の市民が各事業に参加しやすくなるよう、実施方法や周知方法を見直す必要があります。	
	146	子どもをサポートする事業の充実	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷲宮児童館)	コミュニティセンター、図書館、児童センター等において、子どもの体験活動等のプログラムを拡充し、子どもをサポートする事業を充実します。	こども育成課	【児童センター】 令和7年度は小学生以上向けに63事業を企画し、63事業すべて開催できました。夏休み期間に集中的に小学生向けの講座を開催し、その後は体育事業、うどん作りなどの体験型の事業を実施しました。 【鷲宮児童館】 令和7年度は小学生以上向けに9事業を企画し、9事業すべて開催しました。夏休み期間では電気教室をはじめ、小学生向けの事業を集中的に実施しました。毎月開催している事業で、児童の健全な発育をサポートする機会を定期的に設けています。	参加者の少ない事業があるため、魅力的な企画や、事業の効果的な周知方法を考えていく必要があります。	
	147	スポーツ施設の充実	平成22年度	市民にとって利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の充実に努めます。	スポーツ振興課	指定管理者により、適正かつ効率的な施設の管理運営を行いました。 体育施設へ防犯カメラの設置工事等を実施しました。 主な工事等 ・南栗橋スポーツ広場防犯カメラ設置工事 R8.3月完了	市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション施設を提供するため、不具合箇所は速やかに修繕すると共に、老朽化した施設は計画的に改修していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
生涯学習関連施設の環境整備	148	学校図書館と市立図書館の連携の充実	令和元年度	学校図書館と市立図書館の連携を推進します。	指導課 生涯学習課	【生涯学習課】 学校訪問事業を市内全小学校で実施しました。(学校訪問事業実施学校数 21校中21校実施) 学校への団体貸出を実施しました。(学校への団体貸出冊数1,845冊) 学校と連携した市立図書館利用券の発行を行い、市立図書館及び電子図書館の利用促進を図りました。(市内全小学校の1年生、久喜東小学校3～6年生、太田小学校3～6年生、鷺宮小学校3～6年生、砂原小学校2～6年生、東鷺宮小学校2～6年生、桜田小学校3～6年生に実施)	【生涯学習課】 学校と連携した市立図書館利用券の発行について、毎年新1年生の登録を実施していく予定です。	
	149	公民館事業の充実	平成22年度(推定)	主体的な学習活動を支援するため、様々な公民館事業を各コミュニティセンター等で実施し、内容を充実します。	生涯学習課	令和7年度は、8地区合計で85事業を実施し、延べ8,381人が参加しました。(公民館まつり参加者は含むが、体育祭参加者は除く。) ・久喜中央地区:10事業 554人参加 ・江面地区:10事業 1,058人参加 ・久喜東地区:10事業 1,491人参加 ・青葉地区:10事業 564人参加 ・清久地区:10事業 1,059人参加 ・菖蒲地区:11事業 684人参加 ・栗橋地区:10事業 2,442人参加 ・鷺宮地区:11事業 468人参加 ・久公連事業:3事業 61人参加	事業参加者を増やし、生涯学習の推進を図るため、事業のニーズについて情報収集するとともに、地区ごとに特色のある公民館事業を実施します。	再掲先 連番No.206
	150	図書館施設の充実	令和元年度	図書館施設設備の充実を図り、おはなし会や映画会、各種講座を実施します。	生涯学習課	紙媒体の広報くきや図書館だよりによる情報提供だけでなく、図書館ホームページやLINE、SNS等のインターネットを活用した情報発信を行うことで、図書館自主事業(各種講座)の周知に努めました。 「久喜市電子図書館」の周知に努め、定期的な資料の収集を進めました。 ・久喜市電子図書館タイトル数 5,007点 ・電子雑誌の読み放題サービス 325誌	ICTのさらなる活用を進め、図書館サービスを向上させることで、新たな利用者獲得につなげていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 2 施設ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	151	生涯学習関連施設有効利用の推進	平成11年度(推定)	学校、コミュニティセンター、図書館、体育館、郷土資料館、文化会館等の生涯学習関連施設を学習活動に有効活用しやすいように仕組みを整え、地域ぐるみの総合的な学習環境を整備します。	生涯学習課 郷土資料館	【生涯学習課】 令和4年度3月に開設した生涯学習施設「まなびすポット」において、久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、人材バンクや出前講座の公開講座、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広い学習環境を提供しています。 【郷土資料館】 郷土資料館では、展示だけでなく、図書閲覧コーナーの利用や学芸員によるレファレンス、各種講座の実施等、学習活動が行える環境を維持しました。	【生涯学習課】 生涯学習施設の利用数は増加していますが、今後さらに利用を増やしていくため、市民大学生や高齢者大学生、生涯学習推進部員に呼びかけていく必要があります。 【郷土資料館】 更なる学習環境向上のため各種講座を様々なテーマで企画立案するとともに、市立図書館のデジタルアーカイブを充実することで学習の幅を広げていく必要があります。	
	152	生涯学習施設「まなびすポット」自主事業の充実	令和3年度	市民の学習活動・課題解決を支援するために、市民のニーズを反映した自主事業を提供します。	生涯学習課	久喜市市民大学・高齢者大学の講座を中心に、生涯学習推進部による活動、各種会議、高齢者大学生の自主事業での活動等、幅広く学習の場を提供しています。	今後、市民大学生や高齢者大学生を中心に、さらに使用していただけるよう呼びかけていく必要があります。	
	153	郷土資料館の充実	平成12年度	郷土資料館施設設備の充実を図ります。	郷土資料館	資料の受贈、他自治体刊行物の配架、参考図書の購入等を通して、館蔵資料及び館蔵資料に関する参考図書等を充実させました。	資料の増加に伴った収蔵スペースの確保などについて、引き続き検討していく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 3 地域ネットワークの充実							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
学校教育と社会教育との連携・協力	154	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)	平成29年度	保護者や地域の住民の力を学校運営にいかす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和7年度は、4月14日(月曜日)に市内全ての小・中学校の委嘱交付式および全学校運営協議会委員が参加した研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の開催に併せ、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進するための機会とすることができました。	担い手が不足しており、学校によってはメンバーが固定化され、学校側からの報告のみで終わってしまう場合がある。各校のコミュニティスクールの成果と課題を調査し、次年度以降の事業改善に活かしていきます。	再掲先 連番No.196
	155	学校応援団※再掲	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等の学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、保護者や地域住民を含む多くのボランティアが参加し、学習・環境・安全安心、部活動支援等の学校の支援をしました。特に、花壇や畑の手入れ、除草作業、地域の見守りなど、教職員の業務負担軽減につながっています。久喜市地域学校協働活推進員設置に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に、学校の支援をしました。	PTA活動の減少に伴い、除草作業や環境整備など学校応援団の負担が増加している。地域の人や保護者も参加しやすい形態や実施方法を検討していく必要があります。	再掲元 連番No.123 関連項目 連番No.131,195
	156	中学生学力アップ教育推進事業※再掲	平成29年度	中学生の学習習慣の確立や学力の定着を図るため、放課後の学習を支援します。	指導課	令和7年度は、市内全体で215名の中学生が参加しました。学校ごとに年間30回を予定し、299回実施することができました(急な雷雨対応による中止が1回)。生徒の学習習慣の定着や学力向上に寄与することができました。	国や県からの補助金が年々減額されているため、予算の確保が課題となっています。	再掲元 連番No.15
	157	地域学校協働活動の推進	令和2年度(推定)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、35名の推進員で構成されています。放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができています。	2年ごとの委嘱期間の中で、他の学校の委員との効果的な事例などの情報共有の充実。地域学校協働活動推進委員と学校運営協議会との連携が課題です。	再掲先 連番No.197
	158	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 ・参加児童数:2,842人 ・開設講座数:338講座(全21ゆうゆうプラザでの総計) ・実施委員人数: 387人 サポーター数 1,809人 ・児童参加率:42.9%	子どもたちの興味・関心を高めるために体験型講座を含めた新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のさらなるDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。	再掲元 連番No.18 関連項目 連番No.125,198

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～ 3 地域ネットワークの充実						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
高等教育機関などの活用	159	大学公開講座の活用	昭和63年度(推定)	高等教育機関の実施する大学公開講座を紹介します。	生涯学習課	高等教育機関から受講生募集案内を受理した際に、生涯学習課窓口案内を配架し、講座等の周知をしています。 また、本市と連携協定を締結する大東文化大学や日本工業大学から依頼があった公開講座については、広報紙に掲載し、広く周知に努めました。	生涯学習課窓口以外での案内・周知方法について、どのような方法が実施可能か検討を進める必要があります。	
	160	高等教育機関等の積極的活用	平成24年度	市内にある県立高校や、その他の高等教育機関と連携し、専門的な学習支援を促進します。	生涯学習課	市内高等学校に依頼をし、生徒にまなびすとフォーラム(令和7年6月7日(土曜日)実施)に参加していただきました。 また、子ども大学を9月に平成国際大学(加須市)及び生涯学習施設で実施しています。	包括連携協定を結んでいる他の高等教育機関等について、どのような方法でイベントの開催や参加が可能かを検討する必要があります。	
	161	地域住民と大学生の交流の促進	令和5年度	地域の活性化を目指し、地域の行事に学生が参加しやすい場を設け、地域住民と大学生との交流を促進します。	生涯学習課	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)にて運営に携わるサポーターを、地域住民を対象に募集しました。若い世代との地域住民との交流を図っています。	生涯学習課窓口以外での案内・周知方法について、どのような方法が実施可能か検討を進める必要があります。	
	162	子ども大学くき※再掲	平成24年度	高等教育機関、久喜青年会議所と連携を図り、子どもの知的好奇心を満足させる学びの機会を提供します。	生涯学習課	令和7年度は、定員50人に対して40人の申し込みがあり、次のとおり実施しました。 (内訳4年生9人 5年生14人 6年生17人) ・1日目 日程:9月7日(日曜日) 会場:平成国際大学 実施内容:「入学式」「みんなで踊ろう! からだで学ぼう!」 ・2日目 日程:9月14日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「広報紙から学ぶ! 見やすいデザインの作り方」 ・3日目 日程:9月21日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「自分で家の設計をしてみよう!」 ・4日目 日程:9月28日(日曜日) 会場:鷺宮行政センター5階生涯学習施設「まなびすポット」 実施内容:「模擬選挙をやってみよう!」 各講座90%以上の児童が勉強になったと回答しました。 参加児童にアンケートを実施し、参加児童の希望する開催時期や講座メニュー等を調査しました。	子どもの知的好奇心を刺激する、より多くのカリキュラムを実施していく必要があります。 また、他の高等教育機関との連携を検討していく必要があります。	再掲元 連番No.19

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		3 つなぐ～学びでつなぐネットワークの推進～		3 地域ネットワークの充実				
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
生涯学習出前講座 の拡充	163	生涯学習出前講座の充実※再掲	平成10年度	出前講座の内容を行政職員のみならず、民間企業、公共機関、市民へと広げ、より充実した講座メニューを提供します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、25種類のメニューについて80件の申請がありました。 そのうち、38件を危機管理課が実施し、その他にはシティセールズ課、市民生活課、障がい者福祉課、学校給食課等をはじめとする庁内14部署が講座を実施しました。 民間団体のメニューからはさいたま司法書士会と埼玉東部消防組合の2件を実施しました。	出前講座の周知を図り、更なる活用を推進する必要があります。	再掲元 連番No.57
	164	生涯学習出前講座活用事業	令和5年度	市民のニーズに合った生涯学習出前講座を生涯学習施設「まなびすポット」で開催します。	生涯学習課	令和7年度は、公開出前講座を下記のとおり3回実施しました。 【1回目】 講座名：防災行政について 日時：令和7年10月11日(土曜日)10:00～11:45 申込人数：9名 参加人数：8名 【2回目】 講座名：正しく知ろう認知症 日時：令和7年10月30日(木曜日)10:00～11:45 申込人数：13名 参加人数：12名 【3回目】 講座名：これだけは知っておきたい法律知識 日時：令和8年2月21日(土曜日)10:00～11:45 申込人数：44名 参加人数：40名	出前講座の周知を図り、更なる活用を推進する必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 1 情報提供体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
多様な媒体を活用した情報提供体制の強化	165	広報くきの発行	平成22年度	毎月、市民と市政をつなぐ情報を盛り込んだ広報紙を発行します。	シティセールス課	毎月1日に広報くきを発行しており、12回発行しました。広報くきは全戸配布のほか、市ホームページへの掲載、スマートフォン向けアプリ「マチイロ」「カタボケ」での配信など、様々な媒体で市民の方へ情報をお届けしました。 発行部数は次のとおりです。 4月号:62,750部 5月号:62,550部 6月号:62,800部 7月号:62,800部 8月号:62,800部 9月号:62,800部 10月号:62,700部 11月号:62,650部 12月号:62,650部 1月号:62,650部 2月号:62,650部 3月号:62650部	広報紙等全戸配布に係る区長等の負担軽減を図るとともに、紙使用削減の全庁的な取り組みに伴い、広報紙のページ数削減を行うため、掲載内容や方法を精査する必要があります。 また、広報紙のデジタル化についても検討していきます。	
	166	公文書館の活用	平成5年度	歴史資料として重要な市の公文書等の保存と活用に努めます。	公文書館	当館の主な業務である公文書の「評価選別」の重要性を広く知っていただくため、令和7年10月1日(水曜日)から令和8年3月31日(火曜日)まで企画展「久喜の祭り 伝統的な祭りと新しい祭り」を開催しました。	引き続き評価選別の成果を広く知っていただくため、企画展を開催していきます。	
	167	コミュニティセンターだよりの作成	平成22年度(推定)	公民館事業の紹介やお知らせ等を市民に提供します。	市民生活課 生涯学習課	【公民館事業推進室】 公民館事業のお知らせ等は、広報くきに「公民館事業のお知らせ」のページを設け、市民への周知を図っています。なお、清久地区では、公民館事業を含む地域の活動のお知らせ等をする「きよく」だよりを作成しています。	【公民館事業推進室】 現在、作成をしておりますが、各地区運営委員会で作成が決まった場合、地区の特色に合わせたものを作成します。	
	168	サークル・クラブ情報誌の充実	平成24年度(スポーツ振興課) 平成23年度(推定)(文化振興課)	コミュニティセンター等を利用する団体や文化団体、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会などの生涯学習推進のサークル・クラブを紹介する情報誌を充実します。	スポーツ振興課 文化振興課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会及びスポーツ少年団本部において、活動紹介及び会員募集等を情報発信し、組織の基盤安定、充実を図りました。 【文化振興課】 久喜市久喜文化団体連合会に補助金を交付し、支援を行ったことで、令和8年3月に文連だよりを発行しました。	【スポーツ振興課】 市ホームページに各団体の紹介を掲載する等、情報発信の方法を検討していきます。 【文化振興課】 文化団体の活動を広く市民に知らせるため、引き続き情報誌を発行する必要があります。	
	169	生涯学習だより「まなびすと久喜」の発行	平成6年度	「自分づくり・仲間づくり・まちづくり」の学習情報を、広く市民に提供する生涯学習情報紙「まなびすと久喜」を発行します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第29号(8月1日発行)、第30号(1月1日発行)を広報紙に折り込む形で発行しました。 【内容】 第29号:第13回久喜市生涯学習研修大会「まなびすと久フォーラム」について、ゆうゆうプラザフェスティバル、サークル団体の紹介等 第30号:第14回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、広報紙による生涯学習推進部の活動紹介を通して、広く市民に生涯学習推進部の活動を周知することで、委員の増加につなげていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 1 情報提供体制の強化							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	170	学習情報の提供※再掲	昭和63年度(推定)	インターネットやホームページ、広報くき等、多様な媒体による学習資源の情報化の推進と、学習情報の広域ネットワーク化を推進し、幅広い学習情報を提供します。	生涯学習課	「久喜市市民大学公開講座」や「久喜市高齢者大学オープン高大」といった市民の方が自由に聴講できる講座の実施について、ホームページや広報くきを用いて周知を行っています。 また、「生涯学習人材バンク活用事業」や「生涯学習出前講座活用事業」については、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を用いて、講座の実施について情報の提供を行っています。	さまざまな生涯学習関係事業の実施について、市公式SNS(X、Facebook、LINE等)を積極的に活用し、あらゆる世代の方達に情報を提供していく必要があります。	再掲元 連番No.72
	171	文化財の活用及び市史編さん	昭和45年度	指定文化財の説明板の設置や各種出版物を編さん・刊行します。	文化振興課	説明板の新規設置を1件、既存の説明板の貼替を1件実施しました。	説明板の設置状況を把握し、劣化状況等に応じて適切に対応する必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	172	人権相談・女性相談	昭和51年度(推定)	子どもや家族、自分自身の生き方や人間関係に関すること、セクシュアリティに関することなど、様々な悩みや心配ごとについて相談を実施します。	人権推進課 各行政センター 総務・人権係	【久喜地区】 原則毎月10日13:15～16:15 特設相談:8月・1月10:00～15:00 久喜総合文化会館の会議室等で実施しています。 【菖蒲地区】 原則毎月第3水曜日13:30～15:30 特設相談:7月10:00～15:00 菖蒲行政センター2階会議室で実施しています。 【栗橋地区】 原則毎月第3木曜日13:30～15:30 特設相談:4月10:00～15:00 栗橋行政センター2階会議室で実施しています。 【鷺宮地区】 原則毎月第4月曜日9:30～11:30 特設相談:6月10:00～15:00 鷺宮行政センター4階会議室で実施しています。 【令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)】 相談件数:34件 各地区の相談件数:久喜地区22件、菖蒲地区4件、栗橋地区4件、鷺宮地区4件	地域や家族のつながりが希薄化していると言われる今日の状況は、人々の社会不安を大きくしています。その中で起きる人権侵害や人権問題に絡む悩みごとは、複雑・多様化し、深刻さを増しています。こうしたことから、人権擁護委員による人権相談・女性相談体制の存在をできるだけ多くの市民に知ってもらい、相談者にとって「誰でも・気軽に・安心して」利用できるように周知していくことが課題です。	
	173	女性の悩み相談	平成14年度	配偶者等からの暴力に関することや夫婦や家族に関することなど、女性の日常生活における様々な悩みや困りごとについて相談に応じます。	人権推進課	計画のとおり相談を実施しました。 原則第1金曜日10:00～15:00, 第3金曜日11:00～16:00, 特設相談:6月8日(日曜日)、11月23日(日曜日)各10:00～15:00 相談は、面接(市役所本庁)、電話、オンラインから選択できます。 【令和8年3月31日時点の成果】 利用率:78.8%(相談数82件/104枠) 予約率:113.5%(予約数118件/104枠)	利用率をさらに向上させるため、庁内各課への事業紹介や市民へのSNS発信を行うなどより一層の周知に努めます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
相談体制の強化	174	消費生活相談	平成13年度	消費生活に関する問題を抱える市民に対し、解決のための助言をします。	市民生活課 (消費生活センター)	木曜日を除く平日(10時～12時、13時～16時)に消費生活センターを開設し、消費生活相談員が消費生活に関する相談に応じ、助言やアドバイスを行っています。また消費生活講座を5回実施しました。 ・相談件数:399件(3月末時点)	分電盤、水道設備、屋根工事等の点検商法をめぐるトラブルが増加しています。 出前講座等の開催など、自立した消費者の育成に向けた取り組みを充実していく必要があります。	
	175	法律相談・行政相談	昭和62年度・昭和37年度	法律や行政の仕組みに関して市民に対し、助言をします。	市民生活課	本庁舎及び各行政センターで法律相談や行政相談を開催し、法律に関する相談や行政の仕組みなどに関する相談に応じています。 【法律相談】毎月3日開催(2日間は2会場、1日は1会場で開催)、相談件数件323件(3月末時点) 【行政相談】毎月1日開催(同日に4会場で開催)、相談件数件50件(3月末時点)	法律相談に相談が集中している傾向があります。 法律相談の予約を受ける際、相談内容に応じて、利用できる他の相談窓口についても案内を行っているが、毎回、キャンセル待ちが多く発生している状況があります。	
	176	創業相談	平成26年度	創業に向けた助言、指導計画の作成方法等、創業時に必要な知識の習得をしていただけるよう努めます。	商工観光課	久喜市商工会との共催により、久喜市創業塾(全5回)を開催しました。 開催日 令和7年11月5日(水曜日)、11月12日(水曜日)、11月19日(水曜日)、11月26日(水曜日)、12月3日(水曜日) 参加者 32人	久喜市商工会と連携し、効果的な周知方法を検討していく必要があります。	
	177	成人健康相談	平成22年度(推定)	血圧が気になる方、体重が気になる方等、各個人の健康に関する相談を実施します。	地域保健課	健康に関する相談を希望する方に対し、保健師が電話や面接、訪問により健康相談を実施しました。	相談先、相談方法について周知し、相談しやすい体制整備に努めます。	
	178	食生活相談	平成22年度(推定)	食生活改善及び栄養に関する相談を実施します。	地域保健課	食生活や栄養について相談を希望する方に対し、栄養士が電話や面接、訪問により、栄養相談を実施しました。	相談先、相談方法について周知し、相談しやすい体制整備に努めます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	179	家庭児童相談	昭和53年度(推定)	児童や家庭を取り巻く種々の相談を実施します。	こども家庭保健課	児童や家庭における相談を実施しました。令和7年度は3月末までに885件の相談を受け付けており、保護者の育児不安の軽減を図るとともに、関係機関との連携により家庭児童の福祉向上に寄与することができました。	令和8年度についても、引き続き、児童や家庭を取り巻く種々の相談を実施します。	
	180	子育て相談・児童相談	平成20年度(久支セ) 平成18年度(栗支セ) 平成24年度(鷺支セ) 平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	保護者の子育てについての不安や悩み等の相談や、子ども全般に関する悩み等の相談を実施します。	子育て支援課 こども育成課	【子育て支援課】 相談件数は次のとおりです。 【久支セ】 44件 【栗支セ】 10件 【鷺支セ】 16件 【こども育成課】 【児童センター】 令和7年度は52件の相談がありました。 【鷺宮児童館】 令和7年度は4件の相談がありました。 【屋内型こどもの遊び場】 令和7年度は276件の相談がありました。 保護者の不安の軽減に寄与することができました。	【久・栗・鷺 支セ】 継続に実施している、子育て相談に関する情報発信を継続的に言い周知を図ります。 【こども育成課】 より気軽に相談ができるように、SNSを利用するなどいろいろな方法で周知をしていきます。 また、会話をする中で相談に繋がるよう、来所者と職員が気軽に話ができる関係づくりを心がけていきます。	
	181	育児相談	平成21年度(推定)	育児に関する悩み等の相談を実施します。	各市立保育園	育児相談を希望する6名に対し、保育士が対面・電話により実施しました。	今後も広報、ホームページ等で幅広く市民に周知をしていく必要があります。	
	182	住宅耐震相談	平成24年度	耐震等に関して市民に助言をします。	建築審査課	耐震相談について、電話や窓口で適宜対応するとともに、専門家のアドバイスが必要な場合は、毎月開催している建築リフォーム相談を案内しました。また、市の耐震助成制度について、市ホームページや地方公共団体における住宅リフォームに係わる支援制度検索サイトなどでPRを行いました。令和7年度の耐震補強等助成金の申請件数は10件、簡易耐震診断の申し込み件数は8件でした。	チラシの作成、全戸配布にかわるPRの方法を検討し、制度の周知を図っていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	183	生涯学習相談	昭和63年度(推定)	市民のニーズにあわせた生涯学習に関する相談を実施します。	生涯学習課	市民大学・高齢者大学に関する問合せや、出前講座、生涯学習人材バンク活用の相談など、問い合わせのニーズに応じた事業等を案内をしています。	市民のニーズは多岐にわたることから、ニーズにあわせた生涯学習関係事業を幅広く市民に周知していく必要があります。	
	184	市民活動の推進	平成22年度	市民活動に関する情報提供と啓発を行い、市民活動団体の特性をいかした社会貢献事業に財政支援して市民活動を推進します。	市民生活課	令和7年度は、4月から市民活動推進事業補助金の周知を行い、14団体から応募があり、審査の結果、14団体の事業を採択しました。 補助金交付確定額5,963,000円	初期的補助の補助区分で申請する団体の割合が全体的に少ない。 立ち上げたばかりの団体やこれから活動を始めようとしている団体へ補助金の活用を促す必要があります。	
	185	子ども育成団体への支援の充実	平成23年度(推定)(こども育成課) 平成9年度(生涯学習課) 平成24年度(スポーツ振興課)	スポーツ少年団、子ども会、ボーイスカウト、青少年育成市民会議、その他多くの子ども育成団体の活動を支援します。	こども育成課 スポーツ振興課 生涯学習課	【こども育成課】 青少年育成団体(6団体)に対し、活動費補助金を交付し、青少年の健全育成に寄与しました。 ・久喜市青少年団体連絡協議会:45,000円 ・久喜市青少年のつどい実行委員会:133,000円 ・青少年育成久喜市民会議:209,456円(確定金額) ・栢間地区青少年を守る会:48,000円 ・久喜市青少年育成市民会議栗橋:37,000円 ・久喜市鷺宮地区青少年育成推進員協議会:144,000円 【スポーツ振興課】 スポーツ少年団本部の活動を支援するため、補助金を交付しました。 ・1,865,000円 【生涯学習課】 各社会教育団体の活動を支援するため、補助金を交付しました。 ・久喜市子ども会育成連合会:300,000円 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:135,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円	【こども育成課】 各青少年育成団体において、構成員の高齢化により活動の存続が困難になってきており、新たな構成員を獲得できるような企画や、活動内容を広く周知する方法が必要と考えます。 【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。 【生涯学習課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
支援体制の強化	186	スポーツ・レクリエーション団体の育成・支援	平成22年度	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援します。	スポーツ振興課	スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会等に補助金を交付やスポーツ活動に親しむ活動の場の提供等を行いました。 ・久喜市スポーツ協会 4,800,000円 ・久喜市スポーツ少年団 1,865,000円 ・久喜市レクリエーション協会 405,000円	【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。	
	187	社会教育関係団体、スポーツ・レクリエーション団体への支援(スポーツ・レクリエーション団体:14年目)	平成22年度	社会教育関係団体やスポーツ・レクリエーション団体の各種事業の支援(文化団体連合会、スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会、ボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会育成連合会、PTA連合会、婦人会連合会)をします。	スポーツ振興課 生涯学習課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会やスポーツ少年団本部、レクリエーション協会等に補助金を交付やスポーツ活動に親しむ活動の場の提供等を行いました。 ・久喜市スポーツ協会 4,800,000円 ・久喜市スポーツ少年団 1,865,000円 ・久喜市レクリエーション協会 405,000円 ・久喜地方青少年健全育成剣道大会 55,000円 【生涯学習課】 各団体の活動を支援するべく、補助金を交付しました。 ・久喜市ボーイスカウト連絡協議会:135,000円 ・ガールスカウト埼玉県第49団:35,000円 ・ガールスカウト埼玉県第67団:35,000円 ・久喜市子ども会育成連合会:300,000円 ・久喜市久喜婦人会連合会:160,000円 ・久喜市菖蒲町小林婦人会:80,000円 ・久喜市栗橋婦人会:80,000円	【スポーツ振興課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。 【生涯学習課】 団体活動の内容を確認し、適正に補助金を交付していきます。	
	188	市民スポーツ久喜・文連だよりなどの支援	平成27年度(スポーツ推進課) 平成23年度(推定)(文化振興課)	スポーツ協会や文化団体連合会の広報紙の発行を支援します。	スポーツ振興課 文化振興課	【スポーツ振興課】 スポーツ協会において、活動紹介及び会員募集等をホームページで情報発信し、組織の基盤安定、充実を図りました。 【文化振興課】 久喜市久喜文化団体連合会に補助金を交付し、支援を行ったことで、令和8年3月に文連だよりを発行しました。	【スポーツ振興課】 市ホームページに各団体の紹介を掲載する等、情報発信の方法を検討していきます。 【文化振興課】 文化団体の活動を広く市民に知らせるため、引き続き情報誌を発行する必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	189	総合型地域スポーツクラブの創設支援※再掲	平成22年度	地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。	スポーツ振興課	実施期間: 令和7年4月から令和8年3月まで 内容: 市広報紙や市ホームページにおいて、団体活動を掲載し、広く総合型地域スポーツクラブの活動を周知しました。 市内にある総合型地域スポーツクラブ ・スポーツコミュニティ久喜 ・サンワ×エナジークラブ久喜支部	引き続き取り組みます。	再掲元 連番No.141
	190	コミュニティまつりの支援	令和2年度(栗橋行政センター) 昭和58年度(鷺宮行政センター)	コミュニティまつりの円滑な運営の支援と、市民相互の交流と連帯感を高め、コミュニティづくりを推進します。	栗橋行政センター 地域振興係 鷺宮行政センター 地域振興係	【栗橋地区】 令和7年11月16日(日曜日)に栗橋文化会館、栗橋B&G海洋センターで「栗橋やさしさときめき祭り」を開催し、約6,000人が参加しました。 実行委員会に対し、補助金の交付や運営の補助など、適切な支援を行いました。 【鷺宮地区】 令和7年度の鷺宮地区コミュニティ祭りは、実行委員会において実施しないこととなりました。今後の実施については、鷺宮コミュニティ推進協議会の調整会議において検討されることになりました。	【栗橋地区】 令和8年度開催へ向けて、経費的な工夫を行い、準備を進めます。 【鷺宮地区】 今後の実施については、引続き、鷺宮コミュニティ推進協議会調整会議及び鷺宮地区コミュニティ祭り実行委員会で検討されることになりました。	
	191	文化団体の活動支援	平成23年度(推定)	市民の文化的活動の振興を図り、文化団体の活動を支援します。	文化振興課	市内4地区の文化団体連合会等から交付申請を受け、次のとおり補助金を交付決定しました。 ①久喜文化団体連合会 975,000円 ②菖蒲町文化団体連合会 820,000円 ③栗橋文化協会 820,000円 ④鷺宮文化団体連合会 522,831円	高齢化の進行等により、文化団体連合会の会員数の減少や各団体の事業縮小が生じています。加盟団体の会員数を増やすため、活動や事業内容の周知を図る必要があります。	
	192	生涯学習活動団体の支援	昭和63年度	市民の生涯学習活動・ボランティア活動の振興・推進を図り、生涯学習活動団体の活動を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」第29号(8月1日発行)、第30号(1月1日発行)を広報紙に折り込む形で発行しました。 令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を提供する予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。 ○発表会・イベント出展参加を予定していた団体 ・発表会 17団体 ・イベント出展 22団体	生涯学習活動団体の活動紹介や生涯学習イベントの開催について広く周知をしていくことで、新たな活動団体の参加につなげていく必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 2 相談体制の強化						
具体的施策	連 番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	193	生涯学習推進会議・生涯学習推進部への積極的支援	昭和63年度	生涯学習推進会議及び生涯学習推進部が主体となって実施する事業展開を支援します。	生涯学習課	久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」は、6月7日(土曜日)に生涯学習施設「まなびすポット」で実施しました。「ささえあう地域と学校」というテーマで、86名の方に参加いただきました。8グループに分かれて、活発な意見交換、討論をすることができました。令和8年2月1日(日曜日)に開催を予定していた生涯学習推進大会「まなびすと久喜」では、子どもから高齢者までのあらゆる世代が、日頃の学習の成果を発表したり、交流する場を提供する予定でしたが、衆議院議員総選挙の執行に伴い、会場の確保が難しくなったことから、開催を中止することとなりました。 ○発表会・イベント出展参加を予定していた団体 ・発表会 17団体 ・イベント出展 22団体	生涯学習推進部委員の数が減少傾向にあることから、久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜」や久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラム、久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」を通じて、生涯学習推進部の活動を広く周知し、委員数の増加につなげていく必要があります。また、「まなびすと久喜」は、2年ぶりの開催となることから、多くの方に来場していただける工夫して情報を発信して行く必要があります。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
学校との連携	194	新・放課後子ども総合プランの推進	平成26年度(推定)	すべての子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な実施を推進します。	こども育成課 生涯学習課	【生涯学習課】 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)と学習や体験や交流活動などを行う事業(放課後子ども教室)との連携を図り、一緒に活動することができています。	【生涯学習課】 放課後児童クラブに参加する多くの児童が、放課後子ども教室に参加できるよう、講座内容や開催方法を工夫する必要があります。	
	195	学校応援団※再掲	平成22年度	学習支援・環境支援・安全安心支援・部活動支援等で学校を支援します。	指導課	学校応援団では市内全ての小・中学校において、保護者や地域住民を含む多くのボランティアが参加し、学習・環境・安全安心、部活動支援等の学校の支援をしました。特に、花壇や畑の手入れ、除草作業、地域の見守りなど、教職員の業務負担軽減につながっています。久喜市地域学校協働活推進員設置に基づき、各学区2名程度配置された推進員を中心に、学校の支援をしました。	PTA活動の減少に伴い、除草作業や環境整備など学校応援団の負担が増加している。地域の人や保護者も参加しやすい形態や実施方法を検討していく必要があります。	再掲元 連番No.123 関連項目 連番No.131,155
	196	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実※再掲	平成29年度	保護者や地域の住民の力を学校運営に生かす「地域とともにある学校づくり」を推進します。	指導課	令和7年度は、4月14日(月曜日)に市内全ての小・中学校の委嘱交付式および全学校運営協議会委員が参加した研修会を実施しました。実践発表後、学校毎に第1回運営協議会を行いました。また、各学校における学校運営協議会の開催に併せ、指導主事が学校を訪問し、本事業の発展を推進するための機会とすることができました。	担い手が不足しており、学校によってはメンバーが固定化され、学校側からの報告のみで終わってしまう場合がある。各校のコミュニティスクールの成果と課題を調査し、次年度以降の事業改善に活かしていきます。	再掲元 連番No.154
	197	地域学校協働活動の推進※再掲	令和2年度(推定)	学校と地域をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員として委嘱し、「学校を核とした地域づくり」を推進します。	生涯学習課	令和8年3月31日現在、35名の推進員で構成されています。 放課後子ども教室のサポーター探し、あいさつ運動の促進、地域住民で行われる学校の除草など、「学校を核とした地域づくり」を牽引することができています。	2年ごとの委嘱期間の中で、他の学校の委員との効果的な事例などの情報共有の充実や、地域学校協働活動推進委員と学校運営協議会との連携が必要です。	再掲元 連番No.157
	198	放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)※再掲	平成16年度	学校・家庭・地域が連携し、異学年や地域住民との交流活動を図り、地域の特性に応じた様々な講座を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、次のとおり実施しました。 ・参加児童数:2,842人 ・開設講座数:338講座(全21ゆうゆうプラザでの総計) ・実施委員人数: 387人 サポーター数 1,809人 ・児童参加率:42.9%	子どもたちの興味・関心を高めるために体験型講座を含めた新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のさらなるDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。	掲載元 連番No.18 関連項目 連番No.125,158

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策	4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化							
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
家庭との連携	199	PTA活動の充実	平成21年度 (推定)	PTA活動の活性化と会員相互の資質の向上、学校・家庭・地域が連携し、子どもの健全な成長を支援します。	生涯学習課	令和7年10月15日(水曜日)に市PTA連合会による情報交換会が行われました。PTA活動が各学校で適切に行われるように、見直し等を含め、情報交換が行われました。その後、2月の定例会において、市P連の解散に関する会員投票が実施された。投票結果は「解散:49票」「継続:1票」となり、令和8年5月31日をもって久喜市PTA連合会が正式に解散することが決定した。	市PTA連合会の解散とともに、市内の各単位PTAにおいても、変革期になっています。各単位PTAにおいても持続可能な形を検討し、団体内にて合意形成を図っていく必要があります。	
	200	子育て講座※再掲	平成28年度(推定)	小学校入学を控えた子どもを持つ保護者が抱えている不安や悩みなどを解消するために、保護者同士の交流を支援します。	生涯学習課	令和7年度は、埼玉県家庭教育アドバイザーを講師として、10月に市内全小学校で実施しました。大人977人に参加をいただきました。11月には、埼玉県家庭教育アドバイザー同士で子育て講座反省会を開催しアドバイザーとしてのスキル向上に努めました。	子どもたちの興味・関心を高めるために体験型講座を含めた新講座を開設すること、実施委員の負担軽減のための事務のさらなるDX化、実施委員の高齢化・後継者不足が課題です。	再掲元 連番No.25
	201	家庭教育学級※再掲	平成27年度(推定)	子育ての悩みや親子の関わり方等について保護者同士で学ぶ機会を支援します。	生涯学習課	令和7年度は補助金交付申請のあった12団体に対して、208,000円を交付し、34の家庭教育事業が実施されました。	市内対象団体に対して、実際の活用団体数が少ないという現状から、より多くの団体が活用できるよう周知方法を見直していきます。市内小中学校では、PTAが解散傾向にあります。PTAに代わる団体に対しても周知を行っていきます。	再掲元 連番No.26
	202	家庭教育支援チームの発足	令和5年度	埼玉県家庭教育アドバイザーを中心とした支援チームを発足し、子育てサロンを開催します。	生涯学習課	4つの子育てサロンを実施しています ①青空ママパパ交流会(令和7年5月11日(日曜日)実施) 参加者:大人23名子ども30人 計53人 保護者同士が子育てについて語り合えました。 ②子育てひろば(令和7年8月2日(土曜日)実施) 参加者:大人17名子ども24名計41名 様々な子育て情報を共有できました。 ③親の学習(令和7年10月市内全21小学校で実施) 久喜市在住の家計教育アドバイザーで内容・プログラムを確認し、実施いたしました。大人:977人が参加しました。 ④いのちの授業(令和7年7～12月に市内中学校で全10回実施しました。ボランティアの乳幼児及び保護者について、大人269人、子ども303人(延べ人数)の参加がありました。	各サロンのより効果的な周知が必要です。市のHPに掲載し、定期的なサロンへの参加募集を図ります。また、チームが自立して活動できるような体制づくりとともに、今後埼玉県や文部科学省の家庭教育支援チームの登録も目指していきます。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施 策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
地域コミュニティとの 連携	203	コミュニティ協議会運営事業	平成22年度(推定)	コミュニティ団体に対して、財政的支援及び事務的支援を行い、コミュニティづくりを推進します。	市民生活課	令和7年度は、市民の連携と協働による自主的なコミュニティ活動や人と人とのつながりづくりを促進するため、各コミュニティ団体に補助金を交付するなど、コミュニティづくりを支援しました。 ・コミュニティ推進協議会補助金(4地区) ・コミュニティ協議会補助金(13団体)	地域コミュニティづくりの目的や感染症対策を含めた課題を共有し、相互に役割を分担して活動できるよう地区コミュニティの組織化を推進、強化する必要があります。	
	204	子どもの体験活動の場の充実	平成2年度(児童センター) 昭和57年度(鷺宮児童館)	自主的な活動や遊び、児童センターや児童館で計画する行事への参加をとおして、心身ともに豊かで健康的な子どもたちの育成を目指します。	こども育成課	【児童センター】 令和7年度には127事業を企画し、127事業をすべて開催できました。 また令和7年度は264日開館し、延べ19,282人が来所しました。 【鷺宮児童館】 令和7年度には108事業を企画し、108事業をすべて開催しました。また令和7年度は293日開館し、延べ9,573人が来所しました。	近隣地域の利用者が多いため、様々な地域の方に利用してもらえるような企画や周知方法が必要と考えます。	
	205	地域子育て支援事業	平成20年度(久支セ) 平成18年度(栗支セ) 平成24年度(鷺支セ)	子育て中の方が、安心して楽しく子育てができるようにします。	子育て支援課	事業実績は次のとおりです。 【久支セ】 事業実施予定数は86事業で、86事業を開催しました。245日開所し、利用人数は延べ4,611人でした。 【栗支セ】 事業実施予定数は66事業で、66事業を開催しました。245日開所し、利用人数は延べ4,861人でした。 【鷺支セ】 事業実施予定数は57事業で、54事業を開催しました。(雨天中止2事業、申し込みなし1事業) 245日開所し、利用人数は延べ7,982人でした。	【久支セ】 市内全域や市外の方等に幅広く利用されるための周知やアプローチの方法を検討します。 【栗支セ】 利用者のこどもが低年齢化していることから、事業を見直し妊婦や親子が気軽に参加できるような事業を検討します。 【鷺支セ】 市内全域や市外の方々にも利用してもらうため、事業の見直しや立地環境を生かした事業を検討します。	

令和7年度生涯学習関係事業報告書(令和8年3月31日現在)

第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)【令和5年度～令和9年度】

基本目標 施策		4 支えあう～学びを支えあう体制づくり～ 3 学校・家庭・地域コミュニティの連携強化						
具体的施策	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果(令和8年3月31日現在)	課題・今後の対策	備考
	206	公民館事業の充実※再掲	平成22年度(推定)	公民館事業運営委員の企画による事業を展開し、地域住民の交流を図ります。	生涯学習課	令和7年度は、8地区合計で85事業を実施し、延べ8,381人が参加しました。(公民館まつり参加者は含むが、体育祭参加者は除く。) ・久喜中央地区:10事業 554人参加 ・江面地区:10事業 1,058人参加 ・久喜東地区:10事業 1,491人参加 ・青葉地区:10事業 564人参加 ・清久地区:10事業 1,059人参加 ・菖蒲地区:11事業 684人参加 ・栗橋地区:10事業 2,442人参加 ・鷺宮地区:11事業 468人参加 ・久公連事業:3事業 61人参加	事業参加者を増やし、生涯学習の推進を図るため、事業のニーズについて情報収集するとともに、地区ごとに特色のある公民館事業を実施します。	再掲元 連番No.149
	207	コミュニティセンターまつり※再掲	平成22年度(推定)	コミュニティセンターごとに、公民館事業運営委員と地域住民との協働により、各コミュニティセンター利用団体の展示や演技発表等を実施します。	生涯学習課	令和7年度は、7地区で実施しました。 ・清久地区:9月27日(土曜日)～9月28日(日曜日) 会場:清久コミュニティセンター 720人参加 ・久喜中央地区:12月20日(土曜日)～12月21日(日曜日) 会場:久喜中央コミュニティセンター 404人参加 ・江面地区:1月24日(土曜日)～1月25日(日曜日) 会場:江面小学校 250人参加 ・菖蒲地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:森下コミュニティセンター 500人参加 ・栗橋地区:2月14日(土曜日)～2月15日(日曜日) 会場:栗橋中央コミュニティセンター 400人参加 ・久喜東地区:2月21日(土曜日)～2月22日(日曜日) 会場:久喜東コミュニティセンター 950人参加 ・青葉地区:2月28日(土曜日)～3月1日(日曜日) 会場:青葉コミュニティセンター 400人参加 なお、鷺宮地区は、2月7日(土曜日)、2月8日(日曜日)に鷺宮中央コミュニティセンターで実施予定でしたが、会場が衆議院議員総選挙の投票所となったため中止となりました。	地区毎の集客方法や事業実施が望まれるため、各地区運営委員会で協議していきます。	再掲元 連番No.55 関連項目 連番No.102,127